

ANTA NEWS

vol.196

1・2

2011 JANUARY/FEBRUARY

観光特集 関東

2011年のスタートは 雅やかに「関東エリア」から。

二階会長・溝畑観光庁長官 年頭挨拶

第212回 常務理事会・第145回 理事会

平成22年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施状況

平成22年度 国内旅程管理研修 実施状況

(株)全旅「日本・トルコ交流120周年記念ツアー」を実施

新春対談 主役登場 二階会長(ANTA)×金井会長(JATA)





観光特集 【関東】

2011年のスタートは雅やかに「関東エリア」から

- 栃木県 家光公御尊像特別公開／野岩鉄道冬キャンペーン
- 群馬県 第21回 石段ひなまつり／第10回 世界一こいのぼりの里まつり
- 茨城県 ベゴニア・ダリアまつり／真壁のひなまつり
- 埼玉県 まちかど雛めぐり／長瀧火祭り
- 千葉県 袖ヶ浦市 東京ドイツ村2010-2011 2・3
- 千葉県 下総名所巡り I
- 東京都 第56回伊豆大島 椿まつり／元三大師大祭 だるま市
- 神奈川県 国指定名勝 三溪園「観梅会」／第53回鎌倉まつり 20

協会情報

- 二階会長・溝畑観光庁長官 新年のご挨拶 4・5
- 三役・支部長・監事 新年のご挨拶 6・7
- 第212回 常務理事会／第145回 理事会 8・9
- 平成22年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施状況 10
- 平成22年度 国内旅程管理研修 実施状況 10
- (株)全旅「日本・トルコ交流120周年記念ツアー」を実施 11
- 国土交通省 水の里の旅 コンテスト 2011..... 12
- 外務省 平成22年度海外安全・パスポート管理促進キャンペーン 12
- 鑑真和上坐像の揚洲里帰り行事に当協会から参加 13
- 全旅協旅行災害補償制度利用推進キャンペーン抽選会を実施 13
- 新春対談 主役登場 二階会長(ANTA)×金井会長(JATA) 14~16
- 支部だより・兵庫県支部 17
- 連載「適正な旅行広告作成のために」(第80回) 18
- 観光庁 主要旅行業者旅行取扱状況速報 21
- 連載「添乗からのメッセージ」(第4回) 22・23
- 平成22年度 会員実態調査 集計報告 24~26
- 平成22年10・11月 正会員入会者・退会者 28・29
- (株)全旅からのお知らせ 30・31
- 読者コーナー「ANTAくらぶ」／全旅協の動き 32



〈表紙の写真〉
初日の出
一年の始まりである、元旦の日の一番最初に昇ってくる太陽のことで、今でも多くの方が、大晦日の真夜中から、見晴らしの良い場所へ出かけて、初日の出に一年の健康と幸運を折ることが習わしとなっています。

旅行業者様の業務効率化と事業価値向上をサポート

製品やサービスを通して、お客様の事業に新たな“創造”が始まること。お客様の成長が加速すること。それが弊社のめざすことです。

弊社は、旅行業様の様々な業務を支援する、3つの業種特化型のシステムをご用意しております。

データ共有による全体的な
プランニング力のレベルアップ!
複数拠点管理も簡単便利!

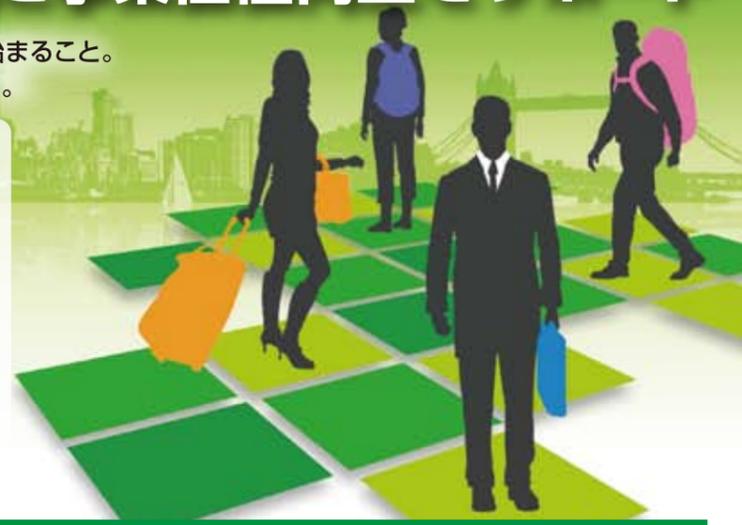
旅行業営業支援ネットワークシステム
TR.NS

営業マンの事務作業を軽減し、
営業効率アップ!
おかげさまで14年 1,100社

旅行業向けシステム
旅行業システムSP

適正運行指示で安全運転をサポート!
予約・運行指示・日報・売上の管理など、
作成データ連動で業務の効率化をご支援

観光バス・貸切バス 事業者向けシステム
バス運行管理システムSP



TR.NS 導入事例

Successful Case Study

Interview



株式会社村上トラベルサービス
代表取締役 加藤 和泰氏

お客様との信頼関係構築に必要なこと

新潟県村上市で地域に根ざした営業を行っている「株式会社村上トラベルサービス」様は、平成20年8月に起業。代表の加藤和泰様が、旅行業界での16年のキャリアを活かし、地域の婦人会や青年会など、さまざまなお客様に、「料金以上の満足感が得られる旅行」をモットーに趣向を凝らしたプランをお届けしている。

などの様々な書類を作成する際の共通情報を一元管理する事が可能となり、事務作業の効率化を実現した。さらには事前に正確な粗利確認が損益検討書でおこなえるので、提供代金について、お客様の要望にぎりぎりまで対応することが可能となった。

営業活動時間の確保! → お客様とのお付き合いをさらに大切に

事務作業の効率化により、その時間を営業活動の時間に当てることができるようになった。お客様との日頃のお付き合いを大切にする加藤社長にとって、営業活動にあてる時間の確保は以前から大きな課題となっていた。事務作業の効率化によってできた時間でお客様と接する機会を増やし、よりお客様のニーズを把握した提案を行うことで信頼関係も深まっていった。そして、日頃のお付き合いを大切にする加藤社長の姿勢が次第に口コミで広がり、紹介での新規顧客が増えていったのである。

User Profile

株式会社
村上トラベルサービス

旅行業登録:
新潟県知事登録旅行業第3-351号
(社)全国旅行業協会会員
近畿日本ツーリスト 提携店

本社: 新潟県村上市藤沢51-1
藤観光タクシービル2階
TEL: 0254-62-6330
FAX: 0254-62-6350

関川営業所: 新潟県岩船郡関川村
大字下関1200-9

事業内容: 総合旅行業



導入背景について

起業当初の状況を振り返ると、経営を起動にのせる為に時間がいくらあっても足りなかったのを思い出すそうだ。顧客との関係構築の為に営業訪問はもちろん、契約が決まった後の手配調整、旅行催行、請求管理と全ての業務を一人でこなさないといけなく、深夜まで業務がかかるのが当たり前の状態だった。またお客様の趣向の多様化によって、最低3種類、多い場合では5種類以上の旅行ルート提案を行うので、業務の効率化・時間短縮が必要であり、システム導入を決意するのに時間はかからなかったそうだ。

導入後の効果

度重なる入力作業が軽減! → 事務作業が効率化

システム導入後は、行程表から見積書、契約書などの書類関係で同じ情報を何度も入力する必要がなくなった為、書類の確認作業が格段に減り、作業時間が大幅に短縮できた。特に行程表作成の部分に関しては、導入前の半分以下の時間で作成する事ができ、お客様の急なプラン変更にも即座に対応する事ができるようになったそうだ。また、行程表や見積書、契約書

製品の詳しい説明や、「セミナー参加申込」・「資料請求」・「無料デモ」の申込はメールでのお問合せは…E-mail: product_info@broadleaf.co.jp

ブロードリーフ

検索

私たちは、システムを通じてお客様と共に歩み続けます。

http://www.broadleaf.co.jp/tr/

■会社概要

- 資本金: 55億 5,305万円 (2010年3月1日現在)
- 売上高: 161億 8,153万円 (単体・2009年度12月期)
- 従業員: 956人 (2009年12月現在)
- 事業所: 営業・サポートネットワーク: 全国36拠点 (2010年3月現在)
- 経済産業省システムインテグレーター登録番号 (関) 20110115

参画企画募集中

現在約300の企業様と共に取り組んでおります。グローリープロジェクトとは、お客様と共に地球環境の保全に取り組む、企業参画型のプロジェクトです。

Grow Leaf事務局 TEL.03-5781-3100



2011年のスタートは雅やかに「関東エリア」から。

新春におとどけする旅企画の第一弾は日本列島のコアステージ、東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・群馬・栃木の1都6県。ニューイヤーを彩るにふさわしく、今年の飛躍を期待できるパワフルな特集です。

■世界遺産登録10周年記念 徳川家光公360年御遠忌

「家光公御尊像特別公開」

将軍職のまま48歳の若さで江戸城で亡くなった徳川三代将軍・家光公。祖父・家康公に対する敬慕の念は厚く、東照宮を絢爛豪華な現在の姿にスケールアップしました。そして、霊廟（墓所）「輪王寺大猷院（たいゆういん）」が建てられ埋葬。「家光公御尊像」は本殿（国宝）の「御宮殿」にひっそり奉安されてきましたが、家光公の没後360年と世界遺産登録10周年を記念して「家光公御尊像」を特別公開中です。輪王寺宝物殿では「家光360記念展」を同時開催。直筆の書をはじめ、将軍家ゆかりの秘蔵品の数々が見られます。



● 期日／平成23年3月31日（木）まで
● 会場／日光山輪王寺大猷院
● 大猷院
☎ 0288(53)1567

■大自然につつまれて 真冬の名湯をめぐる

「野岩鉄道冬キャンペーン」

会津鬼怒川線の新藤原駅と会津高原尾瀬口駅の30・7キロ9駅が野岩（やがん）鉄道。この沿線には川治温泉、湯西川温泉、塩原温泉など名だたる湯どころや秘湯がめじろおし。会津西街道、



男鹿川に沿って走る会津鬼怒川線で、ひんやり澄んだ空気と雪景色を眺めながら史跡・自然めぐり。お得な「史跡めぐり往復割引きっぷ」発売中。旅を彩る名湯とおいしい郷土料理と地酒をお楽しみください。冬キャンペーンの期間中、野岩鉄道を利用された方に温泉のペア宿泊券、記念品、日帰り温泉入浴券など豪華賞品が抽選で当たります。
● 期日／平成23年3月10日（木）まで
● 野岩鉄道
☎ 0288(77)2355

■可愛い園児たちが勢揃い！ 伊香保温泉 第21回「石段ひなまつり」

桃の節句を祝い、伊香保温泉では毎年「石段ひなまつり」を開催します。見どころは何とんでも美しい雛衣装をまとった子供雛の愛らしい姿です。参加するのはこの春、小学一年生となる幼稚園児、保育園児たちで、地元園児と一般公募園児たちが登場。伊香保温泉の石段街をひな段に見立てて、お雛さまの衣装をまとった子供たちが並びます。お内裏様とお雛様、三人官女と五人囃子：みんなうれしそうです。記念撮影するご家族や、一目見ようという観光の人々でにぎやかな恒例の人気イベントです。



● 期日／平成23年3月5日（土）・6日（日）
● 会場／伊香保温泉「石段街」
● 伊香保温泉観光協会
☎ 0279(72)3151

■壮観5,000匹！ ギネス世界記録認定！ 第10回「世界一のぼりの里まつり」



川一面がこいのぼりでいっぱい！ 館林市内5カ所の会場に大小さまざまな5,000匹を超えるこいのぼりが春風に吹かれ、水面を揺らします。平成17年5月には、5,283匹の掲揚数でギネス世界記録に認定されました。保育園の園児たちが作成したこいのぼりもあり、市民の参加型イベントとして定着。館林の新名物となり、今年で10年目を迎えます。4月上旬には、こいのぼりと桜の競演を楽しむことができます。5月5日のこどもの日には、「こいのぼり巡りスタンプラリー」なども開催予定です。
● 期日／平成23年3月25日（金）～5月10日（火）
● メイン会場／鶴生田川 他に近藤沼公園、茂林寺川、つじが岡パークイン、多々良沼
● 館林市観光協会
☎ 0276(72)4111

■豪華絢爛な花たちや 見ごたえある大輪が一堂に

「ペゴニア・ダリアまつり」

バラテラス、ボタン園、アジサイ園をはじめ、一年を通じて花を楽しめる約30ヘクタールの広大な花と緑の公園「茨城県フラワーパーク」。新春から約1,000鉢の色彩豊かな球根ペゴニアと、鮮やかな巨大咲きダリア約200株が登場。数多くの原種や園芸品種があり、花の大きさや色合い、葉の形や色などが変化にとんだペゴニアの中でも、最も豪華で美しい球根ペゴニアを中心に木立性ペゴニア、リーガスペゴニアなどが温室内を彩ります。花のサイズが直径30センチを超える巨大ダリアも必見です。



● 期日／平成23年1月2日（日）～4月17日（日）
● 会場／茨城県フラワーパーク
● 茨城県フラワーパーク
☎ 0299(42)4111

■住民の温かいおもてなしで 年々来訪者がふえ続ける

「真壁のひなまつり」



旧真壁町エリアには400年前の街割りがほぼそのまま残り、江戸から昭和初期の歴史的建造物が多数現存しています。このような歴史的資源を活かして、平成15年に住民有志によってはじまったのが「真壁のひなまつり」。年々展示軒数がふえ、平成22年には170軒を超えました。時代が薫る雛人形をはじめ、地元のみかげ石で作った石の雛人形、ガラス細工、つるし雛など多彩。軒先から見るだけでなく、飾っている家の方に声をかければ、温かくおもてなしいただけます。人形浄瑠璃の上演や各所でイベントも開催。

● 期日／平成23年2月4日（金）～3月3日（木）
● 会場／茨城県桜川市内
● 桜川市観光協会
☎ 0296(55)1111

■第8回 人形のまち岩槻 「まちかど雛めぐり」

「観る 創る 食べる」

江戸時代から栄えた城下町、岩槻は全国的に名高い人形の産地。雛めぐりに参加する商店街の店内やショーウィンドウには、そのお店に伝わる古い人形が展示され、いま活躍中の職人さんの作品も見られます。雛めぐりを盛り上げるのほりがはためき、町中がひな祭りムードに包まれる1ヵ月間。スタンプラリー、創作人形展などのイベントのほか、参加飲食店では、期間限定のメニューや地元食材の特別メニューも登場。日曜日には、人形職人さんの指導による木目込人形製作体験ができます。



● 期日／平成23年2月26日（土）～3月27日（日）
● 会場／岩槻駅前周辺商店街
● まちかど雛めぐり実行委員会
☎ 048(756)2822

■燃え盛る炎が秩父路に春を呼ぶ 「長瀨火祭り」

長瀨駅前広場で秩父各地の郷土獅子舞を奉納した後、修験者の吹き鳴らす「はら貝」の音にのって獅子舞一行と一般奉賛者が火祭り会場へ向かいます。火祭り広場では、ひばをはじめ約7トンもの木が積まれた山に火が放たれ、天にとどく勢いの業火があがる風景は、このイベントの見どころのひとつ。燃え盛る



炎のなかを、つきつきと修験者が気合とともに飛び込んで行きます。火渡りにより、人間のもつ煩惱を清め招福除災を不動明王にお願いするのです。そして、一般の奉賛者たちの火渡りがはじまります。

● 期日／平成23年3月6日（日）
● 会場／宝登山山麓火祭り会場
● 長瀨火祭り奉賛会
☎ 0494(66)3424

■南房総最大級の ウィンターイルミネーション 「袖ヶ浦市東京ドイッ村 2010・2011」



200万球の光で幻想的な世界を演出する光の祭典。5回目を迎える今回のテーマは「笑顔」です。毎年テーマを変えて電飾やオブジェなどを設置。昨年と同じものはほとんどないので、いつも新鮮な感動に包まれます。約91ヘクタールの広い園内へはマイカーで入園するスタイルなので、お子様やお年寄りも安心できると大好評。メインのマルクトプラッツでは「光と音のショー」も開催され、レストランでは期間中、特別メニューをご用意しています。冬の夜の「東京ドイッ村」は、夢あふれるメルヘンランドです。
● 期日／平成23年2月13日（日）まで
● 会場／袖ヶ浦市東京ドイッ村
● 東京ドイッ村
☎ 043(60)5511



社団法人 全国旅行業協会

会長

一階 俊博

新年、明けましておめでとうございます。皆さまお揃いで良いお正月をお迎えのことと存じます。本年が皆さまにとりまして実り多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

当協会は、会員の皆さま、会員会社の社員の皆さま、そのご家族の皆さまの協力のおかげで成り立っております。さらに、宿泊施設・交通機関・観光施設・報道機関など多くの観光産業の皆さまにお支えいただき、大きな絆の中で事業運営を行っております。この皆さま方の力添えに、改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年の一年間を振り返りますと、国内旅行においては、一昨年の新型インフルエンザの影響による売上の落ち込みから立ち直り、延期していた団体旅行の実施が多数あり、また、学生旅行や修学旅行の好調な推移もありましたが、一方で景気低迷による影響も続いております。海外旅行においては、需要回復や円高基調を追い風に、企業需要に回復の兆しを見せ、また、羽田空港の国際線発着枠拡大の影響もあり、良好な推移を示しました。とくに中国への旅行は、上海



あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

観光庁は設立から今年で3年目を迎えます、また、地方自治体や民間においても積極的に観光振興に取り組む気運が高まりを見せ、観光立国の実現に向けた着実な歩みが問われる新たなフェーズに至ったと感じており、正に身が引き締まる思いです。

観光庁では、大きく分けて「訪日外国人3000万人プログラム」「創意工夫を活かした魅力ある観光地づくり」「休暇改革の推進」の3つを重点的に進めています。

まず、昨年の訪日外国人旅行者数は、円高基調や尖閣問題等の影響があったにも関わらず、過去最高を記録する見込みであり、インバウンド施策を本腰で推進し

新年のご挨拶

万博の開催も後押しとなり、上昇傾向にありましたが、その後9月に発生した尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件の影響で減少に転じてしまいました。さらに、北朝鮮による延坪島砲撃のため、韓国への旅行も伸び率が低下し、市場全体では堅調な欧米方面や旅行先を変更する代替需要で凌ぐ結果となりました。また、インバウンド旅行においても、アジア圏からの訪日旅行がたいへん大きな増加幅を示し、とくに中国からは、個人観光ビザの発給要件の緩和などで過去最高を記録し非常に好調でありましたが、こちらも中国漁船衝突事件の影響で減少となつてしまいました。

また、宮崎県においては、昨年4月に発生した口蹄疫のため、風評被害等により観光産業をはじめ県内の経済は大打撃を受けることとなりました。これを支援すべく当協会では、7月に宮崎市で全支部長の参加のもと「緊急全旅合同会議」を開催するとともに、10月から本年3月末まで「がんばらないよー宮崎」キャンペーンを実施しております。

このほか、国際交流活動としては、昨年旅へ おもてなしの風を富山から！水深10000mから標高30000mまで「富山でしか体感できない旬」で「観光立国に貢献！」をテーマに、各地域の会員旅行者が地元での行政や観光関係

観光立国の推進

観光庁長官

溝畑 宏

た結果、経済情勢に影響されない土台が構築されつつあると感じます。「訪日外国人3000万人プログラム」第1期として、2013年までに1500万人を目標としており、選択と集中による効果的な海外プロモーション、経済効果の大きいMICE(広義の国際会議・開催・誘致、新たなメディアを活用した外国人向け情報提供や外国語ガイド育成、活用等の受入環境の整備を重点的に実施していきます。

次に、「創意工夫を活かした魅力ある観光地づくり」としては、2泊3日以上 の滞在型観光ができる観光圏の整備や、固有の観光資源を活用した着地型旅行商品を提供する上で、地域のワンストップ窓口機能を担う事業体(観光地域づくりプラットフォーム)の形成促進、観光地づくりの担い手となる人材の育成支

年11月に(株)全旅の主催で「日本・トルコ交流120周年記念ツアー」が実施されました。このツアーには、全国から約300名の会員の皆さまがご参加ください、私も同行させていただきました。私どもの訪問が日本とトルコの両国の絆をいっそう深める良い機会となったものと思います。

こうして昨年を総括してみますと、私どもの旅行業とは社会の諸情勢等、いろいろなことに関わり合いを持つ平和産業であることを改めて深く感じる一年間でありました。

一方、観光産業にとつて追い風となるようなニュースもありました。昨年10月には羽田空港の新しい国際線旅客ターミナルがオープンし、東京都心へのアクセスのよさを誇る国際空港として再スタートを切りました。また、12月には東北新幹線が新青森までの全線が開業し、さらに、本年3月には九州新幹線が鹿児島中央まで全線開通が予定されております。これらが日本の観光を牽引する新しい力として、そして、停滞する日本経済の起爆剤となるように期待しております。

者等と連携し、地元ならではの観光素材を発掘し、新たな旅行商品を企画・造成し、全国の会員が共同で送客する地旅・着地型旅行のさらなる推進を図ってまいります。フォーラムは、会員の皆さまが相互

援等を進め、幅広い地域関係者が連携した国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進していきます。また、医療やスポーツ、アニメ、ファッション等、これまで観光資源と目されていなかった新たな観光アイテムを創造・普及し、多様な観光メニューの形成による観光振興を進めていきます。

そして「休暇改革の推進」ですが、日本の有給休暇取得率は40%台と低迷しており、この実態を変えるには国民のマインドに訴えるだけでなく、社会の構造的な仕組みも改革する必要があります。また、休暇が一定期間に集中する日本では、交通混雑や旅行費用高騰等の弊害が出ています。そのため、春と秋の連休を地域ブロック別に分散することでピーク需要を平準化させ、旅行費用の低廉化

観光庁においては、平成20年10月の発足から二年余が経過し、観光立国の実現に向けて、さらに大きな重責を担い、国を挙げて観光立国に取り組み体制を整つてまいりました。昨年6月には、政府の新成長戦略(「元気な日本」復活のシナリオ)の中で、観光が重要な柱の一つとして閣議決定されており、これにより「観光」が地域経済の活性化や雇用機会を生み出す重要な政策の一つとしての位置付けがなされ、私どもとしましては大いに歓迎するものです。本年も当協会では、国の政策と一体となつて事業を推進し、観光立国の実現に向けて、リーダーシップを発揮しなければなりません。

現在、当協会は公益法人制度改革の中で「特例民法法人」に位置付けられており、平成25年11月までに「一般社団法人」に移行しなければなりません。これに対応するため、当協会では特別委員会を設置し組織体制をはじめ諸問題について精査を行い、本部と支部が一丸となつてさまざまな課題について慎重な協議を重ねてまいります。

昨年の青森県に引き続き、本年も4月交流する最大の機会でありますので、積極的なご参加をお待ちしております。年の始めにあたり、私の所感の一端を申し上げます。皆さまのご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

等から潜在的な旅行需要を創出することを検討しています。その根本にある考えは経済的側面に限られるものではなく、国民一人一人が休暇を有意義に過ごし、心豊かに暮らせる様な国へ変化させていくことにあります。一方で、様々な課題もありますので、引き続き慎重に議論を進め、国民的コンセンサスの形成に向け最大限努力してまいります。

現在、観光庁では「観光立国推進基本計画」の見直しを進めており、春頃を目標に結論を得る予定です。この様な施策の方向性を同計画で総合的に明らかにしてまいります。観光立国の実現に向け、本年も尽力してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第212回常務理事会(平成22年11月9日)

《第212回常務理事会・第145回理事会》 平成23年度事業計画骨子案・ 第9回フォーラム平成25年1月に 前橋市での開催を承認

第212回常務理事会

第212回常務理事会が平成22年11月9日(火)午後13時より全旅協本部会議室で開催された。

二階会長から開会挨拶がなされ、引き続き、報告事項として、本部報告、地方協議会報告、委員会報告、(株)全旅報告が行われた。

報告事項のうち、本部報告では、平成22年度国内旅行業務取扱管理者試験の実施状況(関連記事・10頁)、平成22年度国内旅程管理研修(関連記事・10頁)の申込状況が報告された。

地方協議会報告では、各協議会での会議報告及び最近の活動状況等について報告された。

委員会報告では、各委員会より以下のとおり報告された。

①「試験研修委員会」11月9日(火)開催・試験研修実務小委員会委員の選考、平成23年度試験研修事業計画骨子案、研修講師の管理体制、講師レベ

ルアップ研修等に関する審議。②「経営推進委員会」10月5日(火)開催・全旅協旅行災害補償制度利用推進キャンペーン、第8回国内観光活性化フォーラムのシンポジウム、第9回フォーラムの開催地、平成22年度経営(税務)セミナー、「がんばらないよ!宮崎」送客支援キャンペーンなどに関する審議。③「公益法人制度改革特別委員会」11月8日(月)開催・定款変更案、業務委託費の配分案などに関する審議。

(株)全旅報告では、同社各部門の上半期実績が報告され、保険事業では公益法人改革への共済制度の対応として見舞金制度発足に向けた検討、全旅協旅行災害補償制度利用推進キャンペーンの成果、クイボン事業では準会員制度の入会申込状況、ANTAINETの改修、日本旅行との提携、旅行事業ではJ-R東日本との提携による地旅推進、上海万博のチケット販売、

日本・トルコ交流120周年記念ツアーなどについて報告された。
審議事項では以下について審議された。

1. 平成23年度事業計画の骨子案

次年度の当協会事業計画案の策定において、各委員会で事業計画及び予算の検討を行う素案として、三役会の協議による事業計画骨子案が提案され、原案どおり承認された。

2. 第8回国内観光活性化フォーラム

平成23年4月26日(火)～27日(水)に富山市で開催される第8回フォーラムについて、開催概要及び参加者目標数について提案され、原案どおり承認された。

3. 第9回国内観光活性化フォーラム

第9回フォーラムについて、関東地方協議会より平成24年度事業として平成25年1月下旬に群馬県前橋市での開催要望の申請があり、その事業計画案及び収支予算案が提案され、原案どおり承認された。

4. 新規入会申込者

新規入会申込者について入会審議がなされ、条件なし入会申込者2支部2社、条件付き入会申込者14支部26社の入会が原案どおり承認された。

このほかの審議事項として、任期満了に伴う試験実務小委員会の委員の

選考について、構成メンバーの提案がなされ、原案どおり承認された。

第145回理事会

第145回理事会在10月14日(木)午後13時30分から東京都品川区のホテルラフォーレ東京で開催された。

平成23年度(第47回)通常総会、会員の除名について審議された。

来年度の通常総会については、平成23年6月22日(水)東京都品川区のホテルラフォーレ東京で開催することが承認された。

会員の除名については、先の常務理事会において平成21年度会費未納に伴う退会勧告が決議されている3会員の所属支部からの除名申請を受けて提案され、審議の結果、当協定会定の規定に基づき本日付で除名することが承認された。

このほか、報告事項として、平成22年度国内旅行業務取扱管理者試験の実施状況、第8回国内観光活性化フォーラムなどについて報告された。



第145回理事会(平成22年10月14日)

会員除名公示

- 茨城県知事登録旅行業第2・300号
株式会社 旅行センターモック
代表取締役 鯉淵 百合子 殿
- 東京都知事登録旅行業第2・320号
三井観光 株式会社
代表取締役 笹田 良吉 殿
- 東京都知事登録旅行業第3・5734号
有限会社 日本の百選
代表取締役 佐藤 雄二 殿

記

平成22年10月14日開催の第145回理事会において右記の者に対する除名申請を受理し、平成22年10月14日をもって除名を決議したことを当協定会定第16条第4項の規定に基づき公示します。

社団法人 全国旅行業協会
会長 二階 俊博



記念パーティーで挨拶する二階会長

（株）全旅「日本・トルコ交流120周年記念ツアー」を実施 約300名が記念パーティーに出席

（株）全旅では、当協会の後援、トルコ航空の協力のもと、昨年11月15日から24日までの間、6コースの「日本・トルコ交流120周年記念ツアー」を実施し、当協会の二階会長をはじめ三役や（株）全旅の池田社長ら総勢約300名が参加した。

として同ツアーを実施した。

同ツアーの参加者は、成田または関西空港からそれぞれ出発、3コースに分かれて、イスタンブール、パムツカレ、カッパドギアなどの観光地を訪問するとともに、11月20日（土）にはイスタンブールで一堂に会して「日本・トルコ交流120周年記念パーティー」がトルコ側来賓の出席を得て開催された。同パーティーで当協会の二階会長が挨拶に立ち、「トルコ共和国は世界有数の親日国であり、5千年の歴史を誇る大國であります。我が国との交流は今から120年前、オスマン帝国の軍艦、エルトゥールル号が、友好親善の帰途、私の郷里である和歌山県の串本沖において遭難し、乗組員650名のうち581名が命を失う悲劇に見舞われたことに始まります。両国はこの悲しい出来事を絆として、お互いに理解と友情を深めて参りました。1985年にはイラン・イラク戦争下のテヘランで立ち往生した日本人約200名がトルコ航空機に救出されたこともあり、19世紀以上にわたりアジアの東と西で友好の絆を深め、親善使節団の相互派



二階会長より記念品を贈呈（中央・ウルソイ会長、右・カルスン議員）

遣や、国会においても超党派による友好議員連盟の活動も非常に活発です。このたび、私は日本・トルコ友好議員連盟の日本側の会長を仰せ付かることになり、微力ながら両国の友好のためにお支えしていく所存です。この私どもの訪問が両国における相互理解、友情、観光交流をより一層深めるものと確信しています」と述べた。

また、在イスタンブール日本国総領事の林克好氏、トルコ側から国会議員のジャーナン・カルスン女史、トルコ旅行業協会会長のパシヤラン・ウルソイ氏の挨拶があり、ベリランダスなどのアトラクションが披露され、終始友好ムードの中で盛会裡にパーティーを終了した。

当協会が観光庁長官の試験事務代行機関として昨年9月12日（日）に全国10都市12会場で行われた平成22年度国内旅行業務取扱管理者試験の合格発表が11月5日（金）に行われた。

本年度の国家試験は、受験申込者1万8373名（一般受験申込者1万6846名、一部免除申込者1527名）で、試験当日の受験者数が1万6287名（一般受験者1万4820名・一部免除者1467名）となり、このうち合格者は5342名（一般受験合格者443名・一部免除合格者899名）となった。合格率は全体で32.8%（一般受験合格率30.0%・一部免除合格率61.3%）となり、昨年度に比べ7.3ポイント下回った。

443名・一部免除合格者899名となった。合格率は全体で32.8%（一般受験合格率30.0%・一部免除合格率61.3%）となり、昨年度に比べ7.3ポイント下回った。



大阪・関西大会会場

平成22年度国内旅行業務取扱管理者試験実施状況 5342名が国内管理者資格を取得・合格率は32.8%

■平成22年度 国内旅行業務取扱管理者試験 実施状況

試験地	受験区分	申込者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
北海道	一般	657	602	178	29.6
	免除	57	55	38	69.1
	計	714	657	216	32.9
宮城県	一般	914	816	272	33.3
	免除	118	116	68	58.6
	計	1,032	932	340	36.5
埼玉県	一般	1,095	981	296	30.2
	免除	115	112	63	56.3
	計	1,210	1,093	359	32.8
東京都	一般	5,697	4,935	1,638	33.2
	免除	487	461	261	56.6
	計	6,184	5,396	1,899	35.2
神奈川県	一般	658	583	157	26.9
	免除	45	44	26	59.1
	計	703	627	183	29.2
愛知県	一般	2,015	1,797	540	30.1
	免除	182	173	110	63.6
	計	2,197	1,970	650	33.0
大阪府	一般	3,455	3,056	873	28.6
	免除	269	259	174	67.2
	計	3,724	3,315	1,047	31.6
岡山県	一般	610	525	139	26.5
	免除	106	104	70	67.3
	計	716	629	209	33.2
福岡県	一般	1,508	1,328	312	23.5
	免除	130	127	79	62.2
	計	1,638	1,455	391	26.9
沖縄県	一般	237	197	38	19.3
	免除	18	16	10	62.5
	計	255	213	48	22.5
全国集計	一般	16,846	14,820	4,443	30.0
	免除	1,527	1,467	899	61.3
	総計	18,373	16,287	5,342	32.8

平成22年度国内旅程管理研修実施状況 全国9会場で227名が修了



仙台市会場
9名・会員外22名が修了

当協会の主催により平成22年12月1日（水）～2日（木）に全国9会場で行われた国内旅程管理研修が実施された。同研修は主任添乗員の資格取得を目的とし、旅行業務従事者及び就業内定者を対象に実施される。受講申込者は22名、修了者は227名となった。

■平成22年度 旅程管理研修 実施状況

開催地	申込者(人)	修了者(人)
札幌市	26	25
仙台市	31	30
さいたま市	44	41
東京都	17	16
長野市	13	12
名古屋市	16	16
大阪市	17	17
岡山市	40	39
熊本市	33	31
合計	237	227

8名となり、このうち会員220名・会員外7名が研修を受講し修了テストに臨み、全員が修了する結果となった。

■年齢別調査表

	受験申込者				合格者			
	男(人)	女(人)	合計(人)	割合(%)	男(人)	女(人)	合計(人)	割合(%)
19歳以下	1,718	2,782	4,500	24.5	460	612	1,072	20.1
20—24歳	2,234	3,753	5,987	32.6	644	1,007	1,651	30.9
25—29歳	896	975	1,871	10.2	261	313	574	10.7
30—39歳	1,820	1,063	2,883	15.7	571	398	969	18.1
40—49歳	1,332	553	1,885	10.3	441	168	609	11.4
50—59歳	737	213	950	5.2	260	80	340	6.4
60歳以上	264	33	297	1.6	117	10	127	2.4
合計	9,001	9,372	18,373	100.0	2,754	2,588	5,342	100.0
割合	49.0	51.0			51.6	48.4		

■職業別調査表

職業区分	受験申込者				合格者			
	男(人)	女(人)	合計(人)	割合(%)	男(人)	女(人)	合計(人)	割合(%)
旅行業	1,059	937	1,996	10.9	311	301	612	11.5
運送業	599	133	732	4.0	181	41	222	4.2
宿泊業	316	129	445	2.4	60	29	89	1.7
観光業	221	124	345	1.9	58	33	91	1.7
学生	3,540	5,918	9,458	51.5	1,056	1,502	2,558	47.9
その他	3,266	2,131	5,397	29.4	1,088	682	1,770	33.1
計	9,001	9,372	18,373	100.0	2,754	2,588	5,342	100.0

世界ジオパークネットワーク加盟認定

山陰海岸ジオパークは平成22年10月に、日本で4地域目となる、世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されました。ジオパークとは大地に親しみ、大地の成り立ちを知り、人間と地球のこれからの関係を考える「大地の公園」です。自然遺産を保全するとともに、地球科学や環境に関する教育・普及活動等を行うとともに、観光資源として活用したジオツーリズムを通じて、地域社会の活性化を目指しています。山陰海岸ジオパークでは、日本列島がアジア大陸の一部だった時代から、今日に至るまでの経過を確認できる貴重な地質遺産を含む、豊かな自然を背景とした人々の暮らしを体験することができます。

- 鳥取砂丘ジオパークセンター ■ 開館時間：午前9時から午後5時 ■ 休館日：なし（年中無休） ■ 入館料：無料（駐車場は有料） ■ 問い合わせ先：0857-22-0021 ■ URL：http://sanin-geo.jp/
- 山陰海岸学習館 ■ 開館時間：午前9時から午後5時（夏季は午後6時まで延長） ■ 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日が休館日）／国民の祝日の翌日（日曜日・休日の場合を除く）／年末年始（12月29日～1月3日）*7月20日～8月31日の間は無休 ■ 入館料：無料 ■ 問い合わせ先：0857-73-1445
- 鳥取県文化観光局観光政策課 ■ 問い合わせ先：0857-26-7637

山陰海岸ジオパーク

「水の里の旅コンテスト2011」「水の里」を元気にする観光の企画・提案を公募／国土交通省

国土交通省では、「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2011を実施し、水源地域や水文化の保全等に取り組む地域(以下「水の里」という)の観光資源を活かした地域の活性化につながる旅行企画を募集している。

このコンテストには、当協会及び(株)全旅が協力をを行い、受賞企画には協力団体による受賞旅行のプロモーションの展開を予定し、水の里の地域活性化に貢献することを目指す。

応募方法は国土交通省HPに掲載の所定エントリーシートで申込を行い、選考は有識者により各賞が選定され、本年5月に千葉県の幕張メッセで開催する旅フェア2011で表彰式を行う予定。応募締切は平成23年1月

平成22年度海外安全・パスポート管理促進キャンペーン(12月1日～3月20日)／外務省

外務省では、平成22年12月1日～平成23年3月20日までの4ヶ月間、平成22年度「海外安全・パスポート管理促進キャンペーン」を実施している。

「自分の身は自分で守る」との意識を持つて、適切な安全対策を講じることが肝要としている。

同省では、海外での安全対策の重要性を訴えるため、平成5年から毎年「海外安全キャンペーン」を実施するとともに、「2月20日」を「旅券の日」と定め、平成11年から毎年、パスポート管理の重要性を呼びかけるキャンペーンを行っており、本年度においては、昨年同様、海外安全キャンペーンとパスポート管理促進キャンペーンを統合し、年末年始休暇の海外渡航シーズンを控え

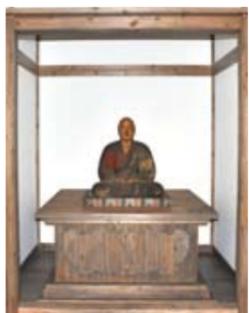
外務省領事局海外邦人安全課・旅券課によると、近年の海外渡航者数の増加に伴い、海外で事件・事故に遭遇し、在外公館の援護を必要とする日本人数は増加しており、海外における日本人の安全対策は大きな課題となっており、日本人が海外において安全に渡航・滞在するために最も重要なことは、国民一人一人が正確な現地情報入手し

「自分の身は自分で守る」との意識を持つて、適切な安全対策を講じることが肝要としている。

同省では、海外での安全対策の重要性を訴えるため、平成5年から毎年「海外安全キャンペーン」を実施するとともに、「2月20日」を「旅券の日」と定め、平成11年から毎年、パスポート管理の重要性を呼びかけるキャンペーンを行っており、本年度においては、昨年同様、海外安全キャンペーンとパスポート管理促進キャンペーンを統合し、年末年始休暇の海外渡航シーズンを控え

鑑真・空海坐像を上海で公開 揚洲里帰り行事に当協会から参加

上海万博の開催に併せて昨年9月29日(日)から11月23日(火)の間、奈良、東大寺が所有する「木造鑑真和上坐像(重要文化財)」と、和歌山・金剛峯寺が所有する「木造弘法大師(空海)坐像(同)」が上海博物館で公開され、多くの中国国民が鑑賞に訪れた。



鑑真和上坐像

学院鑑真図書館で展示された。鑑真和上坐像は、昭和55年(1980年)に一度、揚洲に里帰りしているが、昨年の奈良市開催の平城遷都1300年祭において、奈良市と揚洲市が友好都市提携の締結を記念して、30年ぶりに里帰りすることが決まったもの。

奈良県では今回の鑑真像の揚洲里帰りに併せて、88人の友好交流訪問団を結成し、11月25日(木)から28日(日)にかけて揚洲市を訪問した。名誉団長には冬柴鐵三元国土交通大臣、団長には荒井正吾奈良県知事、このほか武藤浩光庁次長、仲川げん奈良市長、岩村敬関西国際空港(株)会長等の関係者が参加し、当協会からは川崎副会長等が参加した。

初日の25日(木)は、揚洲市王燕文書記、謝正義市長等と冬柴名譽団長、荒井奈良県知事等との表敬会見式並びに揚洲市が策定した建設計画である鑑真桜並木大通りの植樹寄付金の寄贈式が行われた。翌26日(金)には鑑真和上像揚洲里帰り開幕式が

鑑真和上坐像は上海博物館で展示された後、揚洲に里帰りをし、揚洲市大明寺の僧侶や地元市民の大歓迎を受け、11月26日(金)から12月7日(火)の間、鑑真が仏教を学んだ大明寺にある鑑真

開幕式が鑑真学院鑑真図書館にて行われ、約1200



弘法大師(空海)坐像

14日(金)まで。

・応募対象…(1)水の里の水(淡水)や水文化に関する観光資源を活用し、水の里の地域の関係者により企画されている旅行企画で、水の里の地域活性化等の観点から特に優れたもの。(企画の企画や催行等を行っている関係団体、(協議会、観光協会、地方公共団体、商工会、NPO、地域の旅行者など)。(3)わが町・わが地域は「水の里」であるとの自認。

・各賞(予定)…大賞1点、優秀賞3点程度、特別賞3点程度、日帰旅行賞(仮称)宿泊を伴わない旅行企画で優れているものを1～2点。

■本件に関する問合せ
国土交通省 土地・水資源局
水資源部 水源地域対策課
TEL 03-5253-8111
(内線31-314)
URL http://www.mlit.go.jp/report/press/water03_hh_000015.html

た上記の4ヶ月間を海外における安全対策及び旅券管理の重要性を同時に訴えるため、「海外安全・パスポート管理促進キャンペーン」を実施することとした。

本年度のキャンペーンには、海外安全キャラクターとして、ガチャピン&ムックを起用し、「忘れない!安全情報とパスポート」をキャラクターコピーに用いる。特設サイトを立ち上げインターネットによる広報を行うとともに、啓発用リーフレットを作成し、書店、旅行会社等に設置・配布を行うほか、ポスターや広告を通じ、海外渡航を計画、または関心を有している人々に対し、「外務省海外安全ホームページ」及び「外務省ホームページ」のパスポートA

toZ」で事前に海外安全のための情報収集を行うことやパスポートの管理を国内外問わずしっかりと行うこと的重要性を訴えかけるとしている。

特設サイトURL
URL http://www.mlit.go.jp/report/press/water03_hh_000015.html



キャンペーンポスター



鑑真図書館での揚洲里帰り開幕式

人が参加した。同日の午後から第2回鑑真精神フォーラムが開催され、日本と中国の各界代表者による意見

発表が行われた。3日目の27日(土)は唐家璇前中国国務委員の記念講演会が鑑真学院図書館にて開催され、鑑真渡日の背景、鑑真の精神、日中友好の歴史、未来に向けた日中関係などが話され、約1200人が聴講した。同日午後には中国を代表するバイオリン奏者など著名な音楽家による記念コンサートが揚洲音楽ホールで行われた。最終日の28日(日)は平城遷都1300年祭記念フレンドシップキルトの寄贈式が揚洲迎賓館において行われ公式行事が終了した。

全旅協旅行災害補償制度 利用推進キャンペーン抽選会を実施

昨年11月12日(金)当協会本部事務局において、平成22年4月～9月の全旅協旅行災害補償制度の利用会員を対象に、合計39社にグルメカードが抽選で当たる同制度の利用推進キャンペーンの抽選会が実施された。

この懸賞キャンペーンは、同制度の利用推進を図るため、(株)全旅及び引受保険会社(株)損害保険ジャパン、三井住友海上火災保険(株)、アリアンツ火災海上保険(株)の主催により実施されたもので、抽選会には当協会の木村副会長、田中副会長、川崎副会長、島崎専務理事、近藤経営推進委員長、(株)全旅の池田社長、(株)損害保険ジャパンの古賀部長の立会いのもと、厳正な抽選が行われた。

各賞の内訳は、A賞…グルメカード5万円分×6本、B賞…同1万円分×12本、C賞…同5千円分×21本で、このうちA賞の当選者は、トラベルサロンしらす(京都府)、有ティティシートラベル(東京都)、東武トラベル興業(栃木県)、旅好クラブゆとり(秋田県)、有泉観光社(栃木県)、(有)日本旅行企画(長野県)となった。



抽選会の様子



二階 俊博

(社)全国旅行業協会 (ANTA) 会長

金井 耿

(社)日本旅行業協会 (JATA) 会長

旅行業界にとって今年2011年はどんな年になるのか。また、どんな年にしたいのか。2団体のトップである当協会の二階俊博会長と(社)日本旅行業協会(JATA)の金井耿会長とが対談し、きたんなく意見を交換。共に協力し、前向きな姿勢で旅行需要を盛り上げることが必要だと確認しあった。

——(司会)観光経済新聞社社長・江口恒明 観光業界の2010年の状況を振り返ると。

金井会長(以下敬称略) 旅行の全体的な動きは、前年がものすごく悪かったの、それと比べれば回復基調にある。ただ、海外旅行の方は少し戻ってきたとはつきり感じるが、残念ながら国内旅行は元気がない。国内旅行を観光庁の主要旅行者63社の旅行取扱状況の数字で見ると、08年10月に前年を上回って以降、10年3月までマイナスが続いた。10年4月から6月にかけて前年を上回ったが7月以降またおかしくなっている。

これはいろいろ理由がある。一つは、国内旅行の中心を担う熟年層が定年

の人が助かったのだが、この人たちのお世話を懸るにした歴史がトルコと日本の友好の大きな絆になっている。1985年、イラン・イラク戦争の際、日本人がイランに取り残され、安全の保証がされない、日本から救出の飛行機も飛んでいけない状況に追い込まれた時、トルコは以前お世話になったことを思えば多少の危険を冒してでも日本人救済に乗り出すのは当然だと飛行機を2機出してくれて、間一髪で助かった。トルコの人たちは日本が大好きだから、トルコからもっと観光客が来られるはずだ。トルコを一例に挙げたが、他の国々もみな同じ。外交もたいへん大事だが、我々のANTAは、「国民」と「国民」の交流、「地方」と「地方」の交流を積極的に推し進めたい。

——中国とは尖閣諸島問題が起きた。回復するまでにどの程度の時間を要するだろうか。

二階 観光はそんなに影響を受けないと思う。日中はお互いに「引越」ができないわけで、両国は協力しながら進んでいかなければならない。最近、中国琵琶奏者の第一人者、涂善祥(ト・ゼンシヨウ)氏のデイナーショーがあった。私も出席したが、2000人の客席は満杯で友好的な雰囲気だった。日中関係は早く回復しなければいけないと誰もが思っているのだから、私は楽観

などで余暇にかけける時間は増えたが、年金の問題や医療保険の問題など将来に対する不安により、消費を旅行にまで回すことができないことがかなり大きなファクターとなっている。数字が下がっている理由のもう一つは、低価格志向が非常に強いことである。だが、旅行に対する関心がなくなったわけではないので、それを我々としてどう引っ張り出していくかが課題だ。

みんな旅行には行きたがっている。金井 ビジネス面ではインターネットが非常に発達し、お客さまと宿泊施設などが直接やりとりをする形ができている。流通経路の変化が旅行会社による取り扱いの増えないことにも大きく影響を及ぼしているのではないかと。一方でインターネット専門の会社が増え、あきらめるのは早い。既存の旅行会社は今までに現場で関係機関と幾多の取引を積み重ねてきている。だからこそみなさんと智慧を出しあってウイン・ウインになれるように動いて

的に考えている。11年はどんなふう動く。金井 全体的な回復基調は維持できると考えている。旅行に対する潜在需要には大きなものがあり、努力を続けることでそれを顕在化することが可能となる。そこには阻害要因や心配な点もいろいろあるが、我々がどういう気持ちで取り組むかによって、その後の局面に大きな違いが出てくる。国や行政が観光予算を拡大することももちろん重要だが、旅行会社自身が努力することがもつと大切だと思う。例えば中国との交流について、二階会長も大きく関与された鑑真の里帰りが日中間の諸問題が癒るなかで無事に行われ、両国間の交流もより深められたという話も聞いている。

二階 経済産業大臣で博覧会担当大臣だった時、中国の万国博覧会にどんな協力ができるかという会議を開いた。そこで画家の絹谷幸二氏が、東大寺の鑑真坐像に里帰りをして頂いてはどうかと提案された。私は、なるほどと思ひ、高野山の空海像もこの際一緒に訪問されたいと話をした。それから文化庁などをお願いし、奈良県の荒井正吾知事が中心になってくれた。元外相・中日友好協会会長の唐家璇(トウ・カセン)

二階会長(以下敬称略) 我々自民党の政権時代は経済成長戦略を打ち立て、いろいろな施策を集中的に展開してきた。特に中小企業には金融対策をして、インフラの整備の遅れているところには思い切った予算を付けていたが、そうした予算を次々にぶったぎってしまった。それは政権の特徴を現そうとするのだが、明らかに間違っている。それぞれの家庭の収入が増えてこない、家族旅行にお金が続いていかない。観光に対する願望はきわめて高いものがあるが、毎日の生活が安定し、今年も我慢してでも来年はという将来の期待感が持てる状況でないのだ。経済を収縮させるような政策では観光にも響いてくるのは当たり前だ。

その中で観光業者の皆さん、JATAに所属されている方々は当然、ANTAのグループも懸命の努力を続けている。この研鑽の努力はやがて花開く時が来る。観光庁はできたが、予算は微々たるもの。本当に観光立国を実現しようとするなら、5千億円ぐらいパンと打てるのではないかと。事業仕分けでも逆減らすようなことをやっている。二階 限られた予算の中でやるにし



二階 俊博(にかいとしひろ) (社)全国旅行業協会会長

でも、もつとメリハリを利かせなければならぬ。経済の成長のため、あるいは地域おこしのため、国際交流のため、何かあると観光が大事と誰もが言う。だが、言うだけではだめだ。裏打ちのある施策を打ち出さなければ。観光庁ができたのもそういうことをがんばるといってメッセージだった。溝畑観光庁長官もはりきってやっておられるが、もう少し政府与党がバックアップしてあげなければならぬ。——インバウンド客の増加が大いに期待されている。

二階 先の11月、ANTAでトルコと日本の交流の120周年を記念してトルコへ300人ほどで行った。和歌山県串本町の沖合で、今から120年前にトルコのエルトゥール号という船が沈没した。そのときに60人ばかり



金井 耿(かないあきら) (社)日本旅行業協会会長

先生が鑑真精神を述べられた立派なご講演をされた。唐先生は日中友好のため先般も来日された際、程永華(テイ・エイカ)駐日大使も交え、福田元総理、高村元外相と共に私も面談したが、「このような状況の時こそ互いに学び合い、共に発展していかなければならない」と力説されていた。今回の鑑真和上坐像里帰りの旅はたいへん意義深いものであったと思う。——こういふタネは日本国中津々浦々にいっぱいある。トルコ語、英語、日本語のできるトルコの若い人を日本の企業や都道府県、市町村などで活用できないかと、田中駐トルコ大使にも頼まれている。これから国際化の時代を日本経済が乗り越えていくには、地方も一緒になっていく。地方には国際交流の立派な

支部活動報告



大屋川で石拾いを楽しむ

大屋川では「あゆ公園」を流れる清流大屋川で石拾いを楽しみ、公園高台にあるペンションで鮎をメインにし



土人形の絵付けを体験

この研修旅行で「地旅」はその土地ならではの食事・

体験・おみやげが必須アイテムであり、加えて地域との交流と笑顔が欠かせないと再確認できました。また県の方々にも「地旅」について理解を深めていただけたと思います。

地方ではこれから人口減少が切実な問題になるのは明らかです。旅行者減少の解決を考えると、日本全国さらには世界に情報を発信し旅行に来ていただく「地旅」はひとつの方策になると思います。今後も地域の旅行者としてみます。今後も地域の旅行者としてみます。今後とも地域の旅行者としてみます。今後とも地域の旅行者としてみます。

（兵庫県支部 理事 世良純一）

支部日より 兵庫県支部 県内の地旅商品を巡る 研修旅行を実施

兵庫県支部では平成22年11月4日(木)に「地旅・日帰り研修旅行」を催行しました。参加者は41名、兵庫県支部会員をはじめ、兵庫県観光課および(社)ひょうごツーリズム協会の方にも参加していただきました。

今回は地元観光活性化に積極的に携わっている支部役員3名が、「楽しんでいただけて、お



土人形の絵付けを体験

この研修旅行で「地旅」はその土地ならではの食事・

体験・おみやげが必須アイテムであり、加えて地域との交流と笑顔が欠かせないと再確認できました。また県の方々にも「地旅」について理解を深めていただけたと思います。

地方ではこれから人口減少が切実な問題になるのは明らかです。旅行者減少の解決を考えると、日本全国さらには世界に情報を発信し旅行に来ていただく「地旅」はひとつの方策になると思います。今後も地域の旅行者としてみます。今後とも地域の旅行者としてみます。

（兵庫県支部 理事 世良純一）



ハチ高原にて大根抜き

歴史がいくらでもある。だが、これを眠らせたままにしている。予算がどうという問題もあるが、予算だけの問題ではない。アイデアが良ければ人は必ず付いてくる。予算や補助金に頼っている産業は必ず衰える。観光の仕事ではそんなものにならないと言いつけるようでない。成功している企業はみんなそうだ。

金井 それは、おっしゃる通り。ただ、今までの観光について言えば、予算を入れ足りない部分がある。だから、ベースの部分为国がやってもらわないといけない。

二階 私はもつと明るく振る舞わないとだめだと思う。景気が低迷している時に「旅行に行こう」と言ったって誰も行かない。旅行業界の新年会では必ず「今年の景気は」とか経済の見通しを言う人がいる。言った人には申す回るようでは観光業界にお客さんが来るわけがない。旅館でも「お客が来ない」と言ったら料理の材料が古いのではないかと思われかねない。「おかげさまで満杯です」と言えば、日本人はみんな行きたがるわけだ。だから観光業界の人は、旅行に行くとき景気が良くなる、日本経済がうんと良くなることに貢献していると自信を持ってやってほしい。

金井 「観光立国の実現は地方から」はその通りだ。その時にみんな同じパターンを追い求めてしまうと全然おもしろくないから、それぞれの地域が個性をもってやっていかないと。



話題の「フカヒレ極みコース」は極上フカヒレ姿煮1人1枚90gが付きます！



総料理長王永祥シェフは中国国家主席、江沢民氏の専用料理人としても勤務！



大切な人と過ごすひとときを！



廣翔記 新館は巨大なフカヒレの看板が目印！



ウッドデッキの席から蘇州小道の風景を一望！

神奈川県・横浜中華街

国家主席専用料理人王永祥シェフが腕を振るうフカヒレ専門店、一日50組限定の(豪華フカヒレ極みコース)4980円で大奉仕！

フカヒレ専門店 廣翔記 新館

廣翔記新館は21年9月にフカヒレ専門店廣翔記横浜中華街3店舗目としてオープン。1998年〜2000年まで中国国家主席江沢民氏の専用料理人として勤務したあの伝説の鉄人王永祥氏が腕を振るうフカヒレ専門店。鉄人シェフは素材に拘り、スープに拘り、主席専用レシピに拘った美肌効果のフカヒレ料理は横浜中華街で話題沸騰！ただいま新館オープン記念祭として一日50組限定の「豪華フカヒレ極みコース」は割引価格の4980円で大奉仕中！

【施設内容】 全館200席、エレベーター完備、各種個室完備、大小宴会対応可能(蘇州小道)が一望できるウッドデッキは大人気！
 【お料理】 フカヒレ刺身、90gフカヒレ姿煮(1人1枚)北京ダック、アワビ、ツバメの巣など12品
 ● 全席特典 6名様以上「豪華フカヒレ極みコース」ご注文の方は陳年紹興酒1本サービス！
 ■ 営業時間 11時〜22時30分 年中無休、年末年始営業
 ■ 交通のご案内…みなとみらい線元町・中華街駅3番出口 徒歩1分 京浜東北線石川町駅北口徒歩8分
 ■ 住所…〒231-0023 横浜市中区山下町97番地1石屋ビル12F
 TEL 0120(660)168
 FAX 045(680)5818
 WEB http://koushouki.jp

連載コラム

第80回

適正な旅行広告作成のために

富田英毅



富田英毅(とみた ひでき)
 昭和42年(株)日本旅行入社。営業部門を経て、法務関係業務に従事。その間、JATA広告等適正化部会部会長を歴任。旅行業公正取引協議会 元事務局次長。兵庫県姫路市出身。

旅行業法と旅行業約款

会員会社の募集広告を見る機会が増えてきましたが、最近、見た広告の中で少し表示内容で問題となるものがあります。一つは、ツアーバスの広告で「旅行条件は、旅行業法に基づいており、一般的な路線バスの約款と異なりますのでご注意ください。」というものです。旅行条件(取引条件)は、通常の見積りや旅行業約款をベースにして当該ツアー用に書き纏めたものであって、旅行業法をベースにしているものではありません。そもそも旅行業法は、国家が旅行業者等に対して旅行業務を行っていく上で守らねばならないことや行っていないことを定めたもので、旅行業者とお客様の関係を定めたもの(旅行業約款)ではありません。(右下図参照)

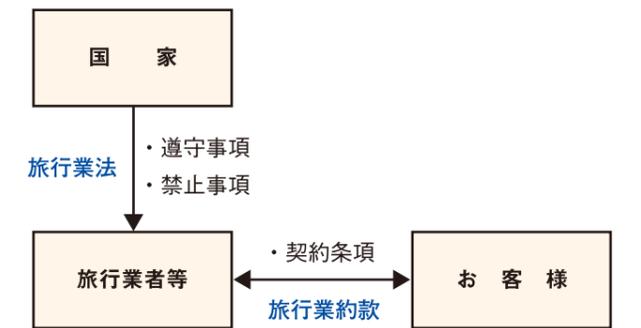
私が現役の頃、支店からの問い合わせを受ける中で感じていたことですが、「旅行業法のことでも〇〇支店の支店長さんから電話です。代わってください。」ということで、電話を取ると、「ヨーロッパ旅行に参加されたお客様から苦情の申出があった。旅行業法でどのように解決したらいいのかわからない」というものです。「旅行業法で…」という言い方を聞いただけでこの支店長さんは、旅行業法と旅行業約款の区別がつかないということがわかります。難しいものは、すべて旅行業法と思い込んでいるのでしょう。お客様が旅行業者等に苦情を申し出るといことは、お客様が参加された旅行で実際に提供された旅行サービスが募集広告や取引条件の説明書面(契約書面)に表示(記載)された契約内容と異なったものであったからだと思います。契約内容のベースになっているものは旅行業約款ですから、その解決方法は旅行業約款に求めなければなりません。旅行業法の何処を見ても解決方法等定められていません。

最近のお客様の中には、旅行業約款の内容をよく知っている方がおられます。トラブルが発生したときに、双方の言い分を聞いていただくお客様の方が理路整然としていることが往々にしてあります。以前にも書きましたが、旅行は車や家電製品のような有形商品でなく、われわれ旅行業者が売っているものは、契約という無形商品です。その意味では、旅行業約款の内容を熟知していなければならないのです。

あと一つは、「旅行代金には、主催保険代が含まれています。」という表示です。主催旅行が募集型企画旅行となって、

既に5年以上が経過しました。そんな中でいまだ「主催」という表示がされていることは論外ですが、これを正式名である「旅行特別補償保険」と表示しても適切な表示内容とは言えません。お客様が企画旅行参加中に偶然の事故によりその身体・生命、身の回り品の上に損害を被った場合、それが旅行業者の責任によるものでない場合であっても、旅行業者が一定の補償金・見舞金を支払う特別補償という制度は、企画旅行契約上で旅行業者が負う債務の一つです。債務の履行に要する費用をお客様が負担するというのもおかしな話です。仮に負担しているのであれば、旅行業者がその債務を履行したことはなりません。特別補償責任に基づく補償金等の支払いとは別に、お客様が負担している保険料に対する保険金の支払いを求められ兼ねない問題になるおそれがあります。同じような表示に「旅行特別補償保険をお掛けしています。」という表示があります。この表示は、旅行業者がサービスで付保している旅行傷害保険と同様、旅行者が受取人となっている保険が掛けられていると誤認させるおそれがある表示です。(注)

上記の二つの表示とは別に、募集広告の表示事項である「企画者の氏名又は名称及び住所並びに登録番号」に併せてその営業所の旅行業務取扱管理者の氏名を表示している広告や取消料の金額又は旅行代金に対する取消料率が表示された広告が散見されます。決して間違いではありませんが、営業所の旅行業務取扱管理者の氏名や取消料の額や料率を記載することが義務付けられているのは、取引条件の説明書面です。旅行業務取扱管理者の氏名や取消料の額は、募集広告の段階でなく、旅行契約を締結する前に交付する取引条件の説明書面の段階でお客様に提供すればよい情報とされているのです。



(注) 旅行特別補償保険の保険金の受取人は旅行業者である。

時評社の官庁名鑑シリーズ

- 本省、外局、地方支分部局等の主要幹部の入省後の「主要経歴」をすべて網羅
 - 生年月日、出身地、出身校等パーソナル情報満載
 - 主要幹部の「顔写真」入り
 - 見やすい横書き
 - すぐに役立つ行政情報を満載
 - 役職名の英語表記入り
 - 本省、関係施設等機関、関係特殊法人、主要団体の住所・電話番号一覧表
- ※各名鑑により若干内容が異なります

観光庁幹部の主要経歴を網羅



2011年版 国土交通省 名鑑 2011年版 定価 5,800円 大好評発売中!

国土交通省名鑑

- ◆ 経済産業省名鑑…4,500円
 ◆ 厚生労働省名鑑…5,300円
 ◆ 農林水産省名鑑…4,500円
 ◆ 総務省名鑑…3,500円
 ◆ 文部科学省名鑑…5,300円
 ◆ 財務省名鑑…4,500円
 ◆ 環境省名鑑…3,000円

「WEB名鑑」いよいよ始まる

2011年3月中旬 Coming Soon

株式会社 時評社 〒105-0001東京都港区虎ノ門1-21-18 詳細は <http://www.jihyo.co.jp> TEL03-3580-6633 FAX03-3580-6634

主要旅行業者の旅行取扱状況速報(平成22年9・10月分)

【観光庁調査 主要63社による旅行業者の旅行取扱状況速報より】

■平成22年9月分

- 海外旅行は、企業需要の回復や円高の継続による増加もあったが、昨年のシルバーウィークの反動減もあり、対前年同月比で1.7%減少した。(7ヵ月ぶり減)
- 外国人旅行は、円高基調が懸念されるが、昨年の新型インフルエンザによる低迷の反動増やアジア圏からの訪日需要により、対前年同月比で45.5%増加した。(9ヵ月連続増)
- 国内旅行は、個人旅行で昨年の新型インフルエンザの反動増が見られるが、団体旅行や企画旅行等、全体的にシルバーウィークの反動減もあり、対前年同月比で7.9%減少した。(3ヵ月連続減)
- 総取扱額は、対前年同月比で5.0%減少した。(7ヵ月ぶり減)

■平成22年10月分

- 海外旅行は、尖閣諸島問題が影響したものの、円高等の好調要因により企画旅行、個人旅行ともに好調であったため、対前年同月比で11.7%増加した。(2ヵ月ぶり増)
- 外国人旅行は、円高の継続や尖閣諸島問題による旅行の中止・延期が見られたため、伸びがやや鈍化し、対前年同月比で14.6%増加した。(10ヵ月連続増)
- 国内旅行は、北海道方面で苦戦したが、近畿・中四国方面は好調に推移し、また、企業需要の回復も見られたため、対前年同月比で2.0%増加した。(4ヵ月ぶり増)
- 総取扱額は、対前年同月比で5.3%増加した。(2ヵ月ぶり増)

渡航情報(スポット情報)

問い合わせ先

◆外務省 海外安全相談センター
TEL直通 03-5501-8162
TEL代表 03-3580-3311
(内線 2902~3)

◆インターネット/外務省海外安全ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/anzen/>



スカイデッキ船外観



揚げたての天ぷら



快適な寝ごたつ座敷



お料理一例



100名様以上でも広々ゆったり船内

東京都・江戸川区

宴会から納涼、花火大会まで屋形船ならあみ達におまかせ

全船に屋上スカイデッキ、通信カラオケを完備。最新設備の大型屋形船7隻。各種ご宴会他、多目的にご利用いただけます。

【施設内容】最新設備の大型屋形船7隻。掘りこたつエアーコン、通信カラオケ、男女別トイレ完備。大型バス駐車場有(江戸川乗船場)。コンパニオンの手配も承ります。

【ご予約】1隻15名様〜128名様 ※最大410名様収容可能。

【料理内容】お通し・おつまみ・一品料理・大皿料理・お刺身舟盛り・揚げたての天ぷら(9品)・香の物・御飯物・御味噌汁・季節のフルーツなど。

【飲み放題】ビール・日本酒・ウイスキー・焼酎

梅酒・ソフトドリンクなど。

【周遊コース】①TOKYO BAYコース ②お台場レインボーコース ③舞浜ロマンティックコース ※江戸川・晴海・お台場・越中島の4箇所より乗船可能。

■料金 お一人様10,500円(税込)より

■営業時間 10時〜22時(※電話受付時間)

■交通のご案内 都営新宿線 一之江駅より徒歩3分/都営大江戸線 勝どき駅より徒歩5分/ゆりかもめ 青海駅より徒歩1分

■住所 〒134-0015 東京都江戸川区西瑞江4-1-20

TEL 03(3665)2780

FAX 03(5607)3000

WEB <http://www.amitatsu.jp>

Eメール info@amitatsu.jp

■「千葉県立房総のむら」で江戸時代にワープするトピックス展



めぐまれた里山環境のなかで、原始古代から近代現代までの衣食住の移り変わりを体験できる博物館「房総のむら」。県内各地の遺跡から出土した考古資料が収蔵展示された歴史と自然を学ぶ「風土記の丘エリア」と、古い商家・農家などが再現されている「ふるさと」の体験エリアがあります。「トピックス展」下総名所巡り」は、江戸に近いことから気軽に訪れることができた成田参詣や香取・鹿島・息栖の三社詣りなど、江戸時代の下総の名所を紹介する特別企画です。

●期日/平成23年2月6日(日)まで

●会場/印旛郡栄町 千葉県立房総のむら

◆千葉県立房総のむら
0476(95)3333

■「第56回伊豆大島椿まつり」



5000本の椿が咲き誇る国内最大規模の椿植物園が「大島公園」です。椿まつりのオープニングは、園内の椿プラザをメイン会場に江戸みこしとあんこパレード。やぶ椿や園芸種などの展示や苗木を即売する椿展、椿の女王コンテスト、椿の花びら染め体験教室など、多彩なイベントが島内各地で行われる伊豆大島最大の観光行事です。

●期日/平成23年1月30日(日)〜3月21日(月・祝)

●メイン会場/椿プラザ(大島公園内)

◆大島観光協会
04992(2)2177

■「元三大師大祭だるま市」



NHKドラマ「ゲゲゲの女房」の舞台となった話題の東京調布市深大寺。その深大寺で最大の行事が「厄除元三大師大祭」です。江戸時代から多くの参詣者が押し寄せた歴史と伝統があり、そのご霊験は今でも多くの人々に篤く信仰されています。これにあわせて境内では大師様のご威力にあやかる縁起だるま市を開催。東京に春を呼ぶだるま市として知名度も全国的です。威勢のいい掛け声でだるまを売り、それを買い求める参詣者で身動きがとれないほどにぎわいます。

●期日/平成23年3月3日(木)・4日(金)

●会場/調布市深大寺

◆深大寺
042(486)5511

■「白梅・紅梅・臥竜梅...」



明治41年、三溪園の創設者である原三溪が梅林の完成を祝って知人を招いたのが観梅会のはじまりです。梅の名所から約2,000本の木を3年を費やして移植。なかでも龍が地を這うような臥竜梅(がりようばい)は、下村観山の屏風絵の名作「弱法師(よろぼし)東京国立博物館所蔵、重要文化財」に描かれた梅の木のモデルとなったことが知られています。そして、中国・上海市から贈られた珍しい緑萼梅(りようがくばい)など、園内には現在約600本の梅の木があります。麦茶接待、箏曲演奏、もちつきなども。

●期日/平成23年2月11日(金)・祝(3月6日(日))

●会場/横浜市三溪園

◆三溪園
045(621)0634

■「第53回鎌倉まつり」



鶴岡八幡宮をメインステージに、市内各所でいろいろな行事が行われます。幕開けは音楽隊をはじめ市内各神社のおみこし、おはやしなどが若宮大路をにぎやかに練り歩く「パレード」。午後は鶴岡八幡宮舞殿で「静の舞」が披露されます。約800年の昔、雪深い吉野山で源義経と生き別れた静御前は、捕らえられて鎌倉へ送られてきました。源頼朝の命により舞ったといわれる静の古式ゆかしい舞を再現。最終日を飾るのは鎌倉時代からの伝統武芸「流鏝馬」です。武者姿の射手が疾走する馬上から3つの的を射抜く様子は迫力満点。

●期日/平成23年4月10日(日)・17日(月)

●メイン会場/鎌倉市鶴岡八幡宮

◆鎌倉市観光協会
0467(23)3050

TOURISM = 観光業・観光旅行

からきている言葉ですが、明確な定義は存在しないようです。立場によっても異なりますが、日本エコツーリズムセンターによれば、「エコツーリズム」とは地域の特色のある自然、文化、暮らしへの理解を深める旅行や文化活動によって、地域の環境保全や産業振興につながる仕組みづくりの事だそうです。

「エコツアー」とはこの考え方に基づいて行われる新しい旅行形態として自然と触れながらやさしく接し、地球と仲良くする旅行として注目を集めてきました。

その例は白神山地では前述の「マタギツアー」、屋久島では自然に触れる「登山ツアー」「カヌー、川遊び体験ツアー」、知床では「知床五湖一周ツアー」「動物ウォッチングツアー」など数多くあります。

ところがこの「エコツアー」(ツーリズム)が今大きな問題を抱えています。あまりに大衆化したために自然にストレスをかけてしまっているということです。旅行者がもたらすお金が現地の自然環境の整備、レストラン・宿泊施設の充実等、訪問先に経済的社会的貢献をしているのは事実です。しかし、その一方で道をすり減らしてしまう、生態系を変化させてしまう、そして旅行者の残すゴミ…といった問題が生じています。

それに加え人はさらに手つかずの自然を求めて奥地に進んでしまい、より多くのストレスをかけてしまっています。そこで旅行者には旅行の出発前に旅行者に対し訪問先の自然環境や文化について理解を深めて頂くような活動が求められるようになってきました。たとえば文化講演会、説明会等で、訪問先のマナー、動植物についての情報を旅行者に提供することなどです。エコツアーガイドには単なる説明だけではなく、地域の人がどのように生活してきたか、より具体的に説明できる人が求められます。



特別に訓練された添乗員がアサインされることもよくあるようです。

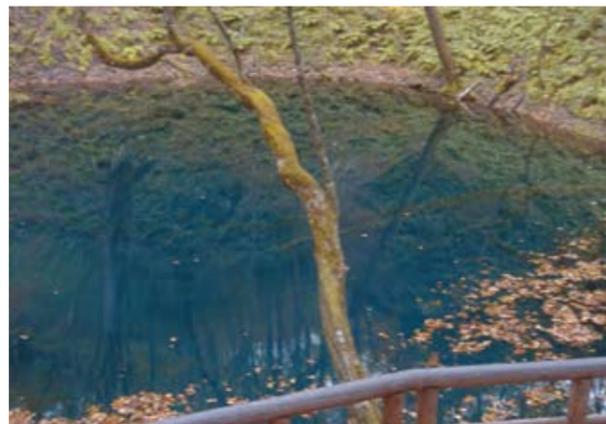
このように多くの旅行業者が努力しているものの、100パーセント理解して頂くというのは難しい、というのが現実かもしれません。

数年前ある世界遺産内にあるお土産屋さんに、「なぜ世界遺産地域内に灰皿を置くのですか？景観もよくないように思いますが…」灰皿を置かなければ誰もタバコは吸わないのではないですか？」とたずねたことがあります。「灰皿を置かないと道に吸殻を捨ててしまう人が結構いるのですよ。矛盾しているようですけど、景観の良い綺麗な空気の中でタバコを吸いたいと思うのでしょうか。」というのが答えでした。本当に難しい問題だと思います。

この仕事をしていると多くの文化遺産、自然遺産と接することになります。添乗員自身もその地域の自然や文化とその保護について深い理解と詳しい知識をもっともっと学んでいかなければならないかもしれません。若い頃添乗を完璧にやろうとして、上手くいかないで苦しんでいたとき、「君主は八をもって可とする…という言葉があるの知ってる？物事は八割できればいいという意味ですよ」と教えてくださったお客様がいらっしゃいました。

私の場合この言葉を聞いてから気持ちに多少余裕ができて、添乗以外のこと、例えば自然環境や文化などに心が振り向くようになりました。同時に今この添乗において優先させるべきことは何か、軸をおくべきはどこなのかを考えるようにもなりました。添乗という砥石で磨いてもらったように感じます。添乗は忙しく大変な仕事ですが、この仕事を通して自然や人のことなどをいろいろな角度から考え、観ることができる興味深い仕事です。

やはり添乗は人生へのメッセージです。



第4回 COLUMN 庄司正昭

添乗からのメッセージ

庄司正昭(しょうじ まさあき)
国士舘大学 21世紀アジア学部教員。
旅行者・添乗員派遣会社等に勤務。
添乗回数は海外国内を合わせ400回
を超える。日本国際観光学会会員。



■ エコツーリズムと灰皿

世界遺産の白神山地に行った時に、少し気になる風景がありました。お土産屋さんの入り口に灰皿が置いてあり、その周りに人があふれているのです。

世界遺産の中に灰皿があるという風景は今までも何度か見てきましたが、今回ほど灰皿のまわりに人が多く、違和感を感じたことはありませんでした。お土産屋さんに人がたくさんいることは良いことなのですが…。

今回は添乗とも大きく関係する世界遺産とエコツーリズムについて、白神山地を例に考えてみたいと思います。

白神山地が世界遺産に登録されたのは1993年、登録範囲は青森県と秋田県にまたがっています。遺産価値は主に3つです。

- 1 白神山地には、日本海の海底が隆起して山地が形成されるにいたるまでの地層が残っている。
- 2 白神山地に自生するブナの原生(人の手が入っていない)林は、東アジアに残る最後の原生温帯林である。
- 3 白神山地には多数の動植物、天然記念物であり絶滅危惧種でもあるイヌワシやクマゲラなどが生息する。

添乗員として必ず知っておかなければならない知識は2番と3番かと思います。登録地域内は原則立ち入り禁止ですが、特別に整備されている暗門の滝と十二湖は立ち入り可能ですので白神山地の入り



マナーも知る必要がありそうです。主なものをあげてみると、

- 1 ゴミは全て持ち帰る = 野生動物等に悪影響を及ぼす恐れがあるのでゴミは捨てずに持ち帰る。
- 2 トイレは適切に = トイレは入山前に済ませるのが基本。
- 3 動植物を大切に = 植物を採ったり踏み荒らさない。生態系に悪影響を与えるペットは持ち込まない。

などがあります。白神山地のふもと、青森県中津軽郡西目屋村には1000年以上も前から山の恵みで生活してきた「マタギ」と呼ばれる人々がいます。「マタギ」という名は、一説では獲物を追って山をまたいで移動する姿が鬼のようだ…ということからついたという説がありますが、現在は高齢化、後継者不足で貴重なマタギの伝統が失われそうになっているそうです。

そこでマタギの伝統文化に触れてみる山歩きツアーや、道具作りを体験し山菜やきのこを料理して食べるマタギツアーがあります。

ところで、旅行業界でよく使われる言葉に「エコツーリズム」というものがあります。では「エコツーリズム」とは何でしょうか？
ECOLOGY = 生態学・生態環境、



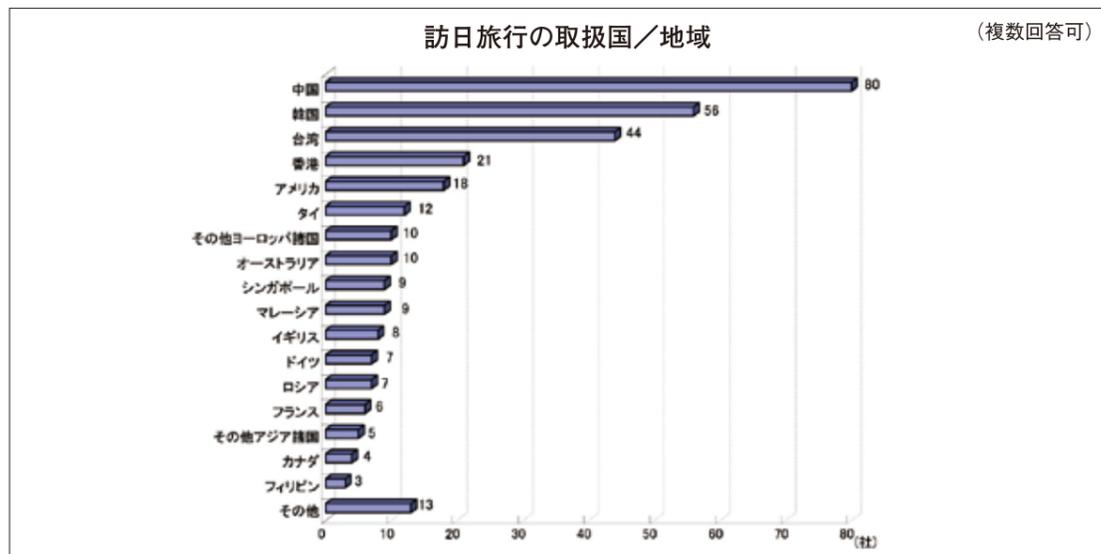
8. 訪日旅行の取り扱い／取扱国・地域

(1) 「訪日旅行」(インバウンド)の取り扱い

調査票の提出があった2,191社のうち訪日旅行の「取扱あり」と回答した会員は146社(6.7%・昨年度:6.4%)、「取扱なし」の回答が2,045社(93.3%・昨年度:93.6%)となった。

(2) 「訪日旅行」(インバウンド)で主に扱う国または地域

前項(1)にて訪日旅行の「取扱あり」と回答した146社の主な受入国または地域は下表のとおりとなった。



9. 修学旅行の取り扱い／国内・海外の別

(1) 「修学旅行」の取り扱い

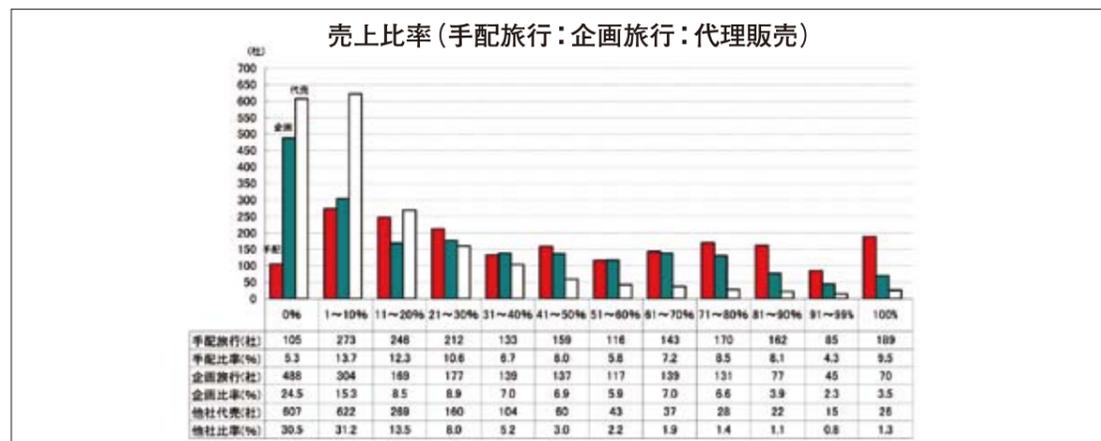
調査票の提出があった2,191社のうち2,108社より本項目の回答があり、「取扱あり」と回答した会員は469社(22.2%)、「取扱なし」の回答が1,639社(77.8%)となった。(無回答83社)

(2) 「修学旅行」の海外・国内の別

前項(1)にて修学旅行の「取扱あり」と回答した469社のうち464社より、修学旅行の行先(海外・国内の別)について回答を得たところ、「海外及び国内」の取り扱いが29社(6.3%)、「海外のみ」が10社(2.2%)、「国内のみ」が425社(91.6%)となった。(無回答5社)

10. 旅行形態別の売上比率(手配旅行:企画旅行:他社商品の代理販売)

旅行売上高全体を100%としたとき「手配旅行:企画旅行:他社商品の代理販売」の売上比率について、調査票の提出があった2,191社のうち1,993社より回答があり、全体での平均比率は、手配旅行の売上が約5割、企画旅行が約3割、他社商品の代理販売が約2割となった。(無回答198社)



平成22年度会員実態調査報告書

当協会では、例年実施している会員に対する標記の調査を本年度も6月に実施しました。この調査では、近年の旅行形態の多様化、規制緩和による競争激化など、旅行業を取り巻く状況が大きく変化する中で、会員の現況や事業展開などを把握するとともに、当協会の今後の事業運営に反映させるため、会員旅行業者5,541社(平成22年6月1日現在)を対象に実施し、その結果、提出回答があった2,191社(提出率39.5%)について集計しました。この集計結果につきましては、前回11・12月号で設問1~6までを掲載いたしました。本号においてもその続きを掲載いたしますので、前号と合わせてご参照いただきたいと思います。なお、この実態調査にご協力いただいた会員の皆様には心より御礼申し上げます。

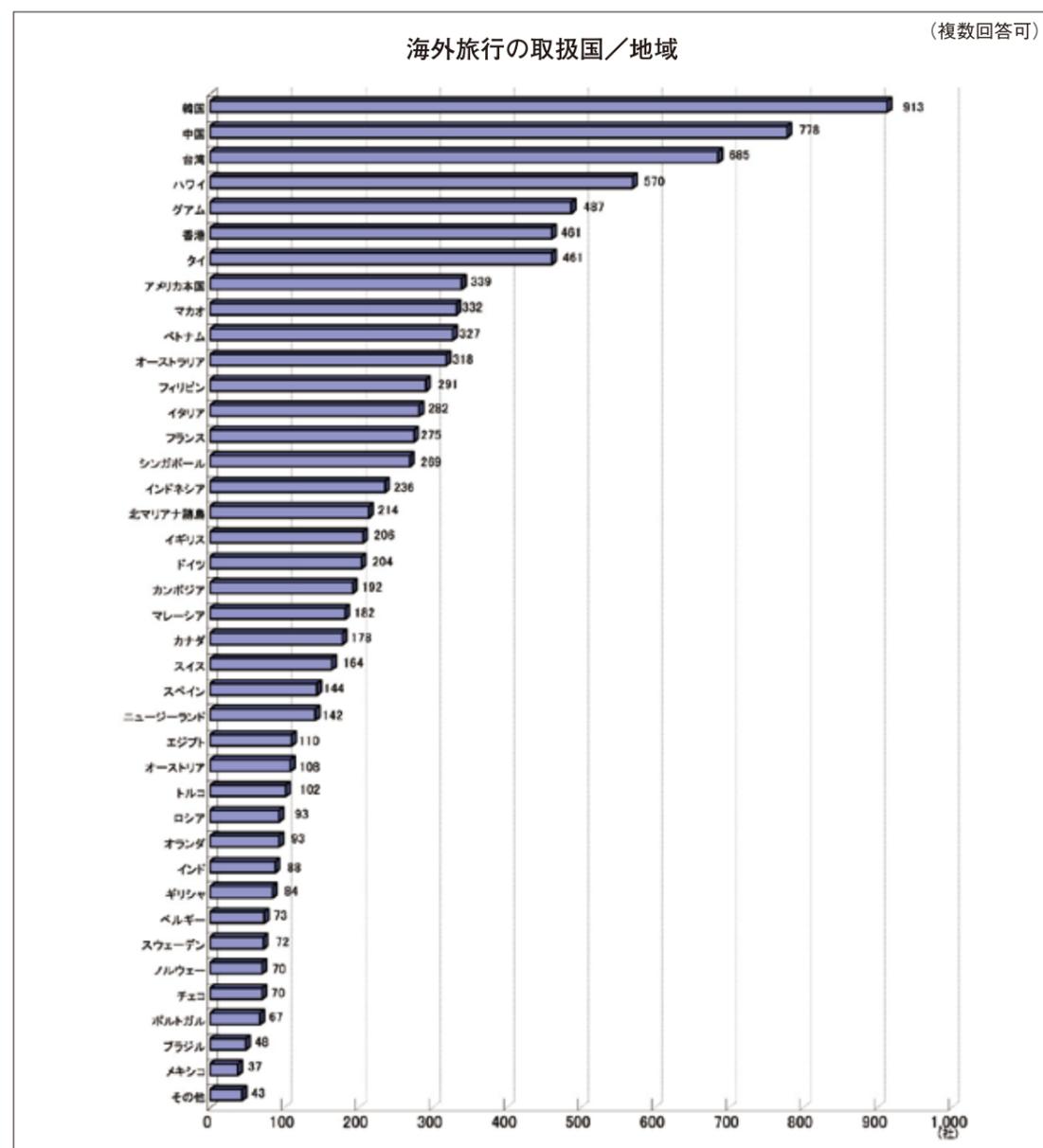
7. 海外旅行の取り扱い／取扱国・地域

(1) 「海外旅行」の取り扱い

調査票の提出があった2,191社のうち、海外旅行の「取扱あり」と回答した会員が1,051社(48.0%)、「取扱なし」が1,140社(52.0%)となり、昨年度とはほぼ同様に約半数に分かれた。

(2) 「海外旅行」で主に扱う国または地域

前項(1)にて海外旅行の「取扱あり」と回答した1,051社の主な送客国または地域は下表のとおりとなった。



平成22年10・11月 正会員退会者

●平成22年10月分

登録番号	名称又は商号	代表者
北海道 3-284	(株)ビー・ビー・フォー	荒木 久明
北海道 2-385	(株)ヌーベルフロンティア	佐藤 隆
北海道 2-417	(有)アライ企画	知野 伸広
秋田県 2-11	(株)秋田中央観光社	渡邊 靖彦
山形県 2-128	(株)東北トラベル	渡辺 宏
山形県 2-208	山形第一観光	大通 隆栄
福島県 2-307	ネコマホテル(株)	小林 康雄
茨城県 2-300	(株)旅行センターモック	鯉淵百合子
埼玉県 3-450	埼京観光	山崎 武男
埼玉県 3-984	イースタンツーリスト	山田 巖
千葉県 2-296	(株)コスモ観光開発	斉藤 忠雄
千葉県 3-337	千葉商科大学生活協同組合	千葉 啓司
千葉県 3-340	(有)足立興業	足立 時代
千葉県 2-436	(株)サクラツーリストアプローチ	相川 和廣
千葉県 3-583	トラベル安藤	安藤寿美江
東京都 2-320	三井観光(株)	笹田 良吉
東京都 2-3113	(株)日本プレジデント	原 東信
東京都 3-5734	(有)日本の百選	佐藤 雄仁
神奈川県 3-519	(有)座間ツーリスト	山中 巖
富山県 2-257	上海交易(株)	松田 隆
愛知県 3-910	(有)飯田エージェンシ	飯田ゆり子
愛知県 3-974	(株)ココナツトラベルサービス	内田 正也
大阪府 3-1038	(株)東大阪旅行会	山下 進
徳島県 3-104	アグリトラベル(株)	大久保義信
大分県 2-27	東久大通運(株)	原田 勝
鹿児島県 2-215	(株)常商	清 照一
観光庁 1-1844	(株)ワールドナビゲーション	立木 健康

●平成22年11月分

登録番号	名称又は商号	代表者
青森県 3-102	西部旅行サービス	相内 実
茨城県 3-319	(株)水戸中央ツーリスト	老田 賢一
埼玉県 2-1012	(株)国大セミナー	小倉 康司
東京都 3-1651	大和総合観光	吉田 晃
東京都 3-2140	(有)神田観光案内所	深谷 弘平
東京都 3-4096	(株)銀河旅行	谷川 博美
東京都 3-4914	(有)エムジェービー	藤川 潔
東京都 2-5877	(株)エイチ・アイ・エス エクスぺリエンスジャパン	古宮 健史
東京都 3-6107	(株)ポピーツアーセンター	瀬川 雅人
神奈川県 3-679	(株)トラベルシーズ	坂尾 静子
静岡県 2-203	(株)浅野新聞店	浅野 蒸治
静岡県 3-414	ハートトラベル(株)	芹沢 正人
兵庫県 3-536	芦屋ビューアトラベル	堤下恵利子
兵庫県 2-597	(株)ポート	中西 威夫
鹿児島県 3-135	(有)岩切観光バス旅行センター	岩切 則之




鹿児島県・屋久島町

地産地消。100%屋久島産を旨くす

屋久島ふるさと市場 島の恵み館

100%屋久島産の素材を生かしたお土産。海の幸、山の幸を使った旬の味。島の恵みと島心でおもてなしいたします。また、この島の食材を活かした手作り弁当も人気です。

■施設内容：レストランは86席のゆったりスペース。生産者直送の農水産物を炭火焼で楽しめるほか、旬の食材を使った定食・丼物・一品料理もご用意。売店では農家直送の野菜、果物が毎日入荷しています。また野外活動用「あさひ弁当」では早朝4時から営業。

■営業時間：お土産売店7時30分～22時、レストラン8時～21時(オーダーストップ)

■その他：大型バス駐車場、お土産の地方発送、観光案内、店内パリアフリー、身障者用トイレ完備

■交通のご案内：宮之浦港より徒歩2分、屋久島空港より車で15分

■住所：〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦港入口

TEL 0997(42)3333

FAX 0997(42)3311

WEB <http://yakushima.co.jp/ichiba/>

売店、レストランと名物“トビウオ” 2段階の内。

平成22年10・11月 正会員入会者

●平成22年10月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H22.10.06	北海道 3-594	(株)アラタビル(ラベンダートラベルサービス)	荒田 政一
H22.10.12	北海道 2-595	深川観光バス(株)(F・Kトラベルマスター)	浅井 清一
H22.10.13	北海道 3-596	(株)アジアプロ	楊 虹
H22.10.19	青森県 3-142	(社)十和田湖国立公園協会	小山田 久
H22.10.21	青森県 2-143	青い森鉄道(株)	関 格
H22.10.14	福島県 3-333	会津ひかり観光(株)	斉藤 充弘
H22.10.18	埼玉県 2-573	(株)大堰観光	長島 豊
H22.10.04	東京都 3-6285	(株)H S サポート	大屋 政士
H22.10.12	東京都 3-6331	山手観光自動車(株)(山手トラベルサービス)	清田 明德
H22.06.29	神奈川県 3-951	イズミトラベルサービス	島村 康彦
H22.10.12	新潟県 3-363	(株)ナックツアー	本望 義人
H22.09.30	新潟県 2-364	大滝自動車工業(株)(放日記)	大滝 徳蔵
H22.10.04	新潟県 3-365	(一社)魚沼市観光協会	三友 泰彦
H22.10.01	富山県 2-258	(株)ユーカリトラベル	河口 孝男
H22.10.13	福井県 3-202	(一社)あわら市観光協会	前田 健二
H18.02.14	福井県 2-204	大野観光自動車(株)(大野観光バス)	長谷川敦俊
H22.10.12	京都府 3-599	フックベントラベル(株)	福原 一洋
H22.09.30	大阪府 3-1782	新国際観光(株)	西植 裕人
H22.10.12	大阪府 3-2548	(株)リードトラスト	神野 政彦
H22.10.12	大阪府 3-2577	(株)東大阪旅行	与田 信幸
H22.10.14	大阪府 3-2579	(株)周	上田 泰
H22.10.19	兵庫県 3-661	大手前自動車工業(株)(大手前ツアーズ)	小林 一繁
H22.10.15	広島県 3-387	(社)尾道観光協会(おのなび旅行社)	川崎 育造
H22.06.29	山口県 2-117	いわくにバス(株)	松島 馨
H22.10.12	福岡県 3-502	(有)西日本トラベル	木森 博義
H22.10.12	佐賀県 3-71	(株)ビィ・エフ・アール	森 鈴子
H22.10.01	沖縄県 2-299	(有)サニーズプロジェクト(サニーズツアー)	木下敬一郎
H22.10.06	埼玉県 3-1076※	熊谷観光総合センター	代 弘志
H22.10.13	大阪府 3-2576※	チューオーツーリスト	大谷 仁
S59.02.03	大阪府 3-2578※	ぶらす亭	日下 博之
H22.10.07	福岡県 3-736※	大牟田観光	古賀 大策
S51.10.20			
H22.10.18			
H09.07.11			
H22.10.15			
H01.03.10			

●平成22年11月分

登録日 入会日	登録番号	名称又は商号	代表者
H22.11.18	埼玉県 2-1078	(株)プリティッシュカルチャーアカデミー(B.C.A ENGLISH TOURS)	田中みね子
H22.11.24	埼玉県 2-1079	(株)そらまめキッズツアー(そらまめキッズアドベンチャー)	小倉 康司
H22.11.16	千葉県 3-836	ユニバーサル エキスプレス	小濱 政夫
H22.11.22	東京都 3-6367	(一社)墨田区観光協会	阿部 貴明
H22.11.29	東京都 3-6368	大南トラベル(株)	小澤 秀人
H22.11.04	東京都 3-6369	テックサービス(株)	村上 雅和
H22.11.10	東京都 3-6373	(株)ムーチョグスト	岡澤 伸治
H22.11.04	東京都 3-6374	(株)ジェイドインターナショナル	菅沼 裕子
H22.11.05	東京都 3-6377	(株)日本プレジデント	原 東信
H22.11.15	新潟県 2-366	(株)N旅ジャパン	成澤 敏明
H22.11.16	新潟県 3-367	(財)魚沼市地域づくり振興公社(UTS旅行)	大島 正徳
H22.11.25	新潟県 2-368	(株)奥信越	樋口 明
H22.11.17	長野県 2-529	(株)燕山荘	赤沼 健至
H22.11.24	福井県 2-205	ワカサ交通(株)	山本 清行
H22.11.26	岐阜県 3-253	エスケイ観光開発(株)	下城 信彦
H22.11.16	滋賀県 3-231	(社)びわ湖高島観光協会	今西 仁
H15.03.26	大阪府 2-2584	(株)つばさトラベル	馬場 信行
H22.11.24	大阪府 3-2585	(株)七福ツーリスト	新谷 正
H22.11.11	岡山県 3-357	(株)菅野梱包運輸・S K 観光	菅野 正則
H22.11.17	愛媛県 2-182	(株)へんろトラベル	小沢 知志
H22.11.17	高知県 3-105	(株)城西館	藤本 正孝
H22.11.22	鹿児島県 3-225	(株)飛躍陽旅行	原 峰雄
H21.03.26			
H22.11.24			
H22.11.18			
H22.11.19			

(一社)は一般社団法人、登録番号欄の※印は会員資格継続を示す。

全国共通お食事券販売のご案内

(ジェフグルメカード)



新商品

ジェフグルメカード
1枚 **500円**

販売手数料
1枚につき3% (15円)!!

～様々な場面にご提案頂けます!～

- ① ご旅行の自由行動時のお食事券として
- ② 企業の福利厚生用として(永年勤続表彰)など
- ③ 謝礼や贈答として(様々な謝礼や贈答など)
- ④ キャンペーン賞品として(顧客・法人向けに)

ジェフグルメカードの特徴

- 1 有効期限がない!
- 2 全国3万5000店で利用可能!
- 3 贈答・福利厚生など幅広く使える!

日本全国
35,000店で
ご利用頂けます

このらのステッカーの貼ってある店舗でご利用頂けます

■主要加盟店

ファミリーレストラン

ファーストフード、テイクアウト、宅配

和食、洋食、焼肉 など

居酒屋

資料請求
ご注文は
こちらまで

株式会社全旅 物品販売課
TEL: 03-5250-2033 FAX: 03-5250-2036

携帯用ウォシュレットのご案内

ツアーでのバス車内販売・訪問営業等でご活用下さい

旅行のお供に
(特に海外旅行)
登山・
トレッキングに

おしりを
清潔に
保ちたい方に

携帯用おしり洗浄機
トイレシャワーHW
1,000円
メーカー小売価格

新商品

携帯用ウォシュレットの特徴

- 1 コンパクト・軽量!
- 2 ご旅行・出張の際に便利・最適!
- 3 使い方が簡単で、どなたでも使えます!
- 4 専門メーカーが医療用として開発、安心の日本製!

寸法: 53×36×15mm
重量: 30g 容量: 150ml

手数料40%!!

資料請求
ご注文は
こちらまで

株式会社全旅 物品販売課
TEL: 03-5250-2033 FAX: 03-5250-2036

業務用備品・封筒販売

旅行会社様専用
オリジナル封筒

お客様にご好評頂いております!

1枚あたり **12.6円**
(税込/送料込)

長3封筒500枚より
(税込/送料込み)

6,300円

D-1 飛行機雲/ブルー

スマートなご提案をお助ける
見積もりファイル

1部あたり **60円**
(税込/送料込)

50部1セットの場合(税込/送料込み)

3,000円

一番使うものを、より安く
クーポンホルダー

社名の印字ができます!!

100部1セットの場合
(税込/送料込み)

1,000円

1枚あたり **10円**
(税込/送料込)

インテリア・贈り物に
高級ワールドマップ

A1サイズ(515×841)
高級アルミフレーム付
(税込/送料別)

25,200円

資料請求
ご注文は
こちらまで

全旅プリント通販センター サンプル請求もできます!!
TEL: 0120-003-307 FAX: 0120-787-313



全旅クーポンにてお取り扱い可能です

- 日本旅行(株)「αLine」: 別途「委任状」「申込書」のご提出、利用料等が必要
 - フジドリームエアラインズ(静鉄観光サービス): 個札のみ
 - 花かごしま 2011: 開催期間・平成 23 年 3 月 18 日～5 月 22 日
 - 江・浅井三姉妹博覧会: 開催期間・平成 23 年 1 月 15 日～12 月 4 日
- お問合せ先:(株)全旅 クーポン事業部 TEL 03-5250-2088 FAX 03-5250-2085

ANTA-NETを活用して「地旅」ガアッ!



ANTA-NET(アンタ・ネット)とは…あなたのネットです!!

ANTA-NETは会員の皆様が企画・造成されている地旅商品を会員の皆様が自由にご登録いただける機能を有しています。いつでも簡単に自社の地旅商品をご登録いただけるほか、登録した地旅商品の**変更や修正も可能**です。是非とも皆様が企画・造成されておられる地旅商品をANTA-NETにご登録いただき、地旅商品の**販促ツール**としてご活用下さい。

ここがポイント 旬の情報をこまめに登録・更新することで地域の活性化やビジネスチャンスをつかむ!

プレビュー画面 写真や説明分をふんだんに使いこだわりの企画内容をアピールしましょう。

ANTA-NETのご利用方法 エントリー、情報更新は簡単! 無料でいつでも登録できます。

まずはアクセス、そしてログイン。

<http://www.anta-net.com>

or

全国の旅 検索

にアクセスしてください。TOP画面

TOP画面下にあるログインエリアに「ログインID」「パスワード」を入力してください。

※「ログインID」「パスワード」が不明の方は(株)全旅までお問い合わせください。

新規登録を選択

新規登録をクリック

項目にそって内容を変更

- ① 基本情報 表示したい情報を文字入力してください。
- ② 料金情報 表示したい情報を文字入力してください。
- ③ 催行日程 表示したい情報を文字入力してください。
- ④ セールスポイント イベント情報などアピールしたい内容を文字入力してください。
- ⑤ 写真 表示したい写真をデスクトップに用意して「ファイルを選択」をクリック。リスト内の写真を選んで選択決定してください。

観光商品 登録・検索画面を選択

会員用のトップページから施設情報変更画面へアクセス。

①

②

③

④

⑤



日本の元気は地旅から
進化する地旅へ
おもてなしの風を
富山から!



水深1,000mから標高3,000mまで
富山でしか体感できない旬



●開催日程●
平成23年 **4月26日(火)・27日(水)**

●シンポジウム ●懇親交流会 ●エキスカージョン
●フォーラム会場/富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)
●懇親交流会会場/富山市総合体育館

主催: 社団法人 全国旅行業協会 共催: 株式会社全旅
地元実行委員会(北信越地方協議会/富山県支部)



読者コーナー「ANTAくらぶ」

趣味のコーナー ★「ANTA 旅・川柳」の募集!
旅行中・添乗時・日頃の旅行業務などをテーマに、
旅に関する川柳を募集します。

★皆さまの交流広場「伝言くらぶ」登場!!
「趣味の仲間集まれ〜」から「ペット自慢」まで、
なんでも投稿してください!

本誌では会員の皆さまの投稿文及び写真を募集します! 投稿文(二〇〇
字程度)または写真の場合は一言メッセージをお書き添えのうえ、下記
までお気軽にご投稿ください。*当編集部はメッセージの掲載のみおこないます。
個人情報の管理やその後の活動等は自己責任において行ください。

ANTA 旅・川柳

旅・山柳

スカイツリー 灯す明かりは
下町の情 東京・下町のジョーさん

開国の にはいぞ思ふ
かつら浜 横浜・龍馬さん

月旅行 もらをつく うさぎを追いかけ
埼玉県・夢子さん

応募方法

はがき又は封書で下記までご郵送ください。
作品には必ず氏名・所属支部・旅行業登録番号・会社名・会社住所・
電話番号をご記入ください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5階
社団法人 全国旅行業協会 ANTAくらぶ係

*対象は当協会会員に所属する役員・従業員となります。
*作品は新規のものをご応募ください。なお、掲載作品の著作権は
当協会に所属します。
*掲載分には粗品(特製テレカ)を進呈します。

読者の皆さまからのお便りをぜひお待ちしております。

12月9日(木)	12月8日(水)	12月7日(火)	12月6日(月)	12月2日(木)	12月1日(水)	12月1日(水)	11月30日(火)	11月29日(月)	11月29日(月)	11月25日(木)	11月24日(水)	11月20日(土)	11月19日(金)	11月17日(水)	11月15日(月)	11月12日(金)	11月8日(月)	11月5日(金)	11月1日(月)	
第5回指導調査広報委員会	苦情対応セミナー(東京) 東海地方協議会支部長会(愛知)	第12回経営推進委員会	平成22年度第1〜2四半期監事監査	平成22年度石川県支部・石旅協共栄会合同総会(石川)	旅行新聞・旅館百選審査会(東京)	観光経済新聞社・日本の温泉百選審査会(東京)	苦情対応セミナー(兵庫)	平成22年度国内旅程管理研修(全国9会場)	TIJ第2回休暇改革委員会(東京)	TIJ第2回休暇改革委員会(東京)	鑑真和上像の中国揚州市里帰り訪問(中国・揚州市)	TIJ第4回広報啓発委員会(東京)	旅行業女性会30周年記念講演(東京)	TIJ第4回広報啓発委員会(東京)	苦情対応セミナー(富山)	観光庁・VISIT JAPAN 2010(千葉)	日本旅行業協会30周年記念講演(新潟)	北信越地方協議会(富山)	第6回公益法入制度改革特別委員会	第35回三役会
2月25日(金)	2月24日(木)	2月23日(水)	2月17日(木)	2月16日(水)	2月8日(火)	2月4日(金)	1月31日(月)	1月26日(水)	1月25日(火)	1月21日(金)	1月19日(水)	1月18日(火)	1月14日(金)	1月13日(木)	1月6日(木)	12月24日(金)	12月23日(木)	12月17日(金)	12月10日(金)	
監査法人監査	TIJ理事会(東京)	第28回支部長会議(東京)	第37回東北地方協議会東北各県支部役員合同懇談会(青森)	旅行業健康保険組合(東京)	平成22年度講師レバレッジ研修(東京)	第13回経営推進委員会	7都市情報懇談会(東京)	第80回試験研修委員会	第90回試験研修委員会	観光経済新聞社・人気温泉旅館ホテル250選認定証授与式(東京)	近畿地方協議会新年互礼会(大阪)	近畿地方協議会新年互礼会(大阪)	日本海外ツアーオペレーター協会新年会(東京)	監査法人監査	第28回近畿地方協議会(大阪)	平城遷都1300年祭発展フォーラム(奈良)	国交省・バス事業規制の見直しの方向性検討委員会(東京)	旅行業公正取引協議会第6回理事会(東京)	第356回三役会	

全旅協の動き

11月1日(水)



あなたが見つける、
 あなただけの旅。
 皆様の旅をおまもりする「全旅協旅行災害補償制度」。



幹事会社／株式会社 損害保険ジャパン



副幹事会社／三井住友海上火災保険株式会社



アリアンツ火災海上保険株式会社



「全旅協旅行災害補償制度」のお問い合わせは、
 下記までお願い致します。

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 株式会社 損害保険ジャパン
 営業開発 第1部 第3課
 TEL.03(3349)4037